

### 3 結婚観

#### (1) 結婚することの利点の有無

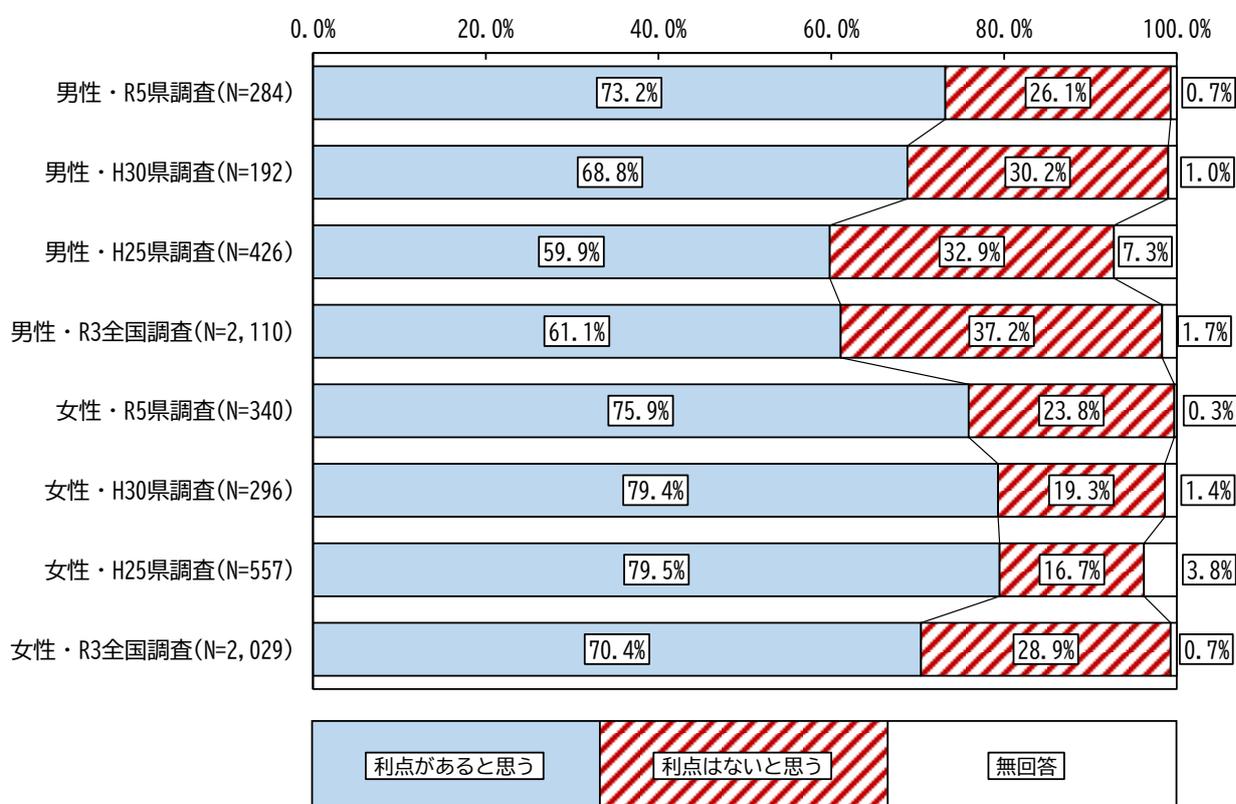
問1 今のあなたにとって、結婚することには何か利点があると思いますか。左下①のあてはまる番号に○をつけてください。また、①の1. に○をつけた方は、右側②の具体的な利点の中から最大の利点と第二の利点をそれぞれ1つ選んで右の回答欄に番号を記入してください。

#### ①結婚することの利点の有無

結婚経験のない20～39歳の、結婚することの利点の有無をみると、男性では「利点があると思う」が73.2%となっている。前回調査に比べて、「利点があると思う」の割合が4.4ポイント上昇している。

女性では「利点があると思う」が75.9%となっている。前回調査に比べて、「利点があると思う」の割合が3.5ポイントとわずかながら低下している。

図表 結婚することの利点の有無



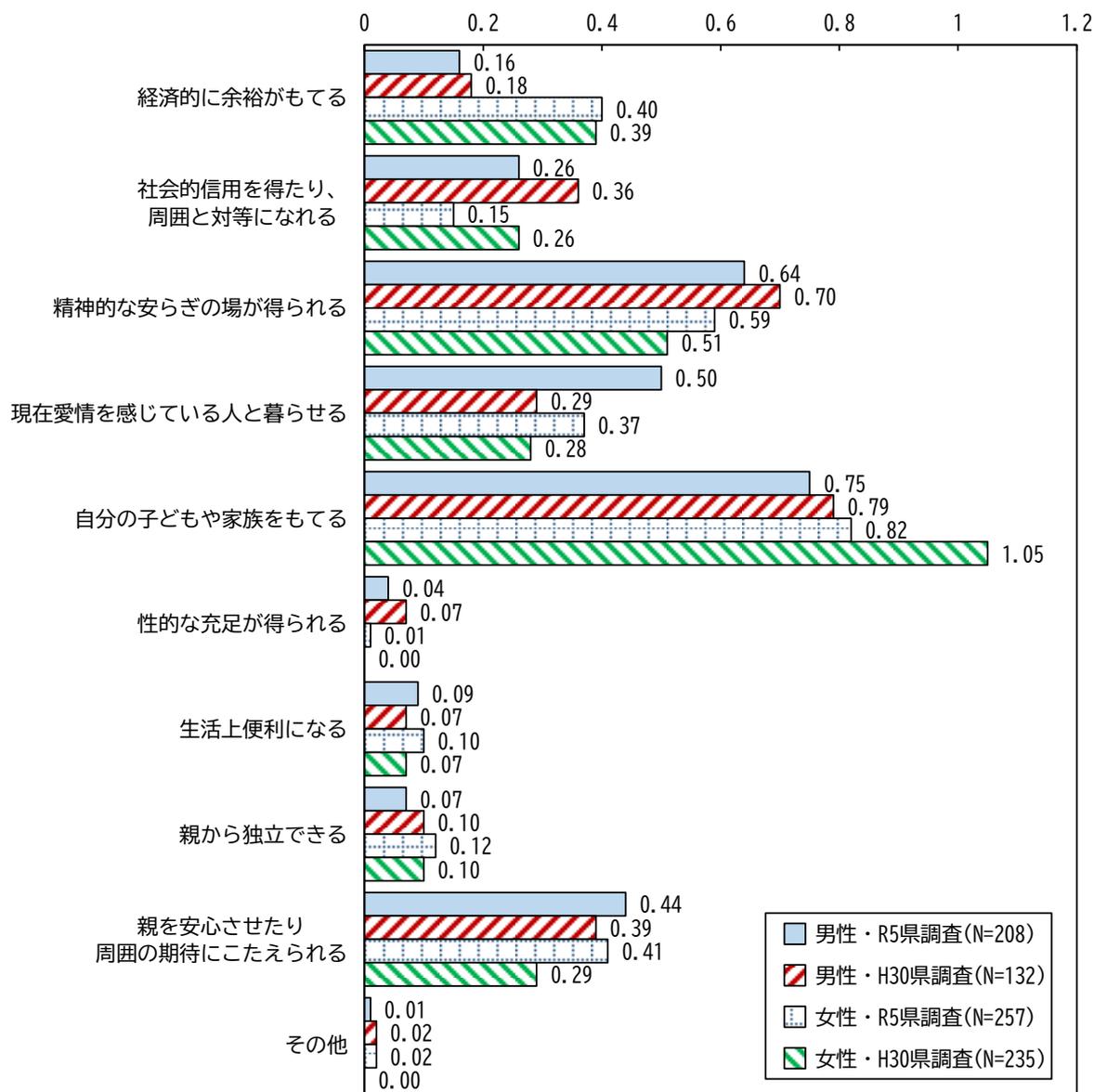
※集計対象：結婚経験のない20～39歳

## ②結婚することの具体的な利点

結婚経験のない20～39歳の、結婚することの具体的な利点をみると、男性では「自分の子どもや家族をもてる」が0.75点で最も多く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」が0.64点、「現在愛情を感じている人と暮らせる」が0.50点となっている。

女性では「自分の子どもや家族をもてる」が0.82点で最も多く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」が0.59点、「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」が0.41点となっている。

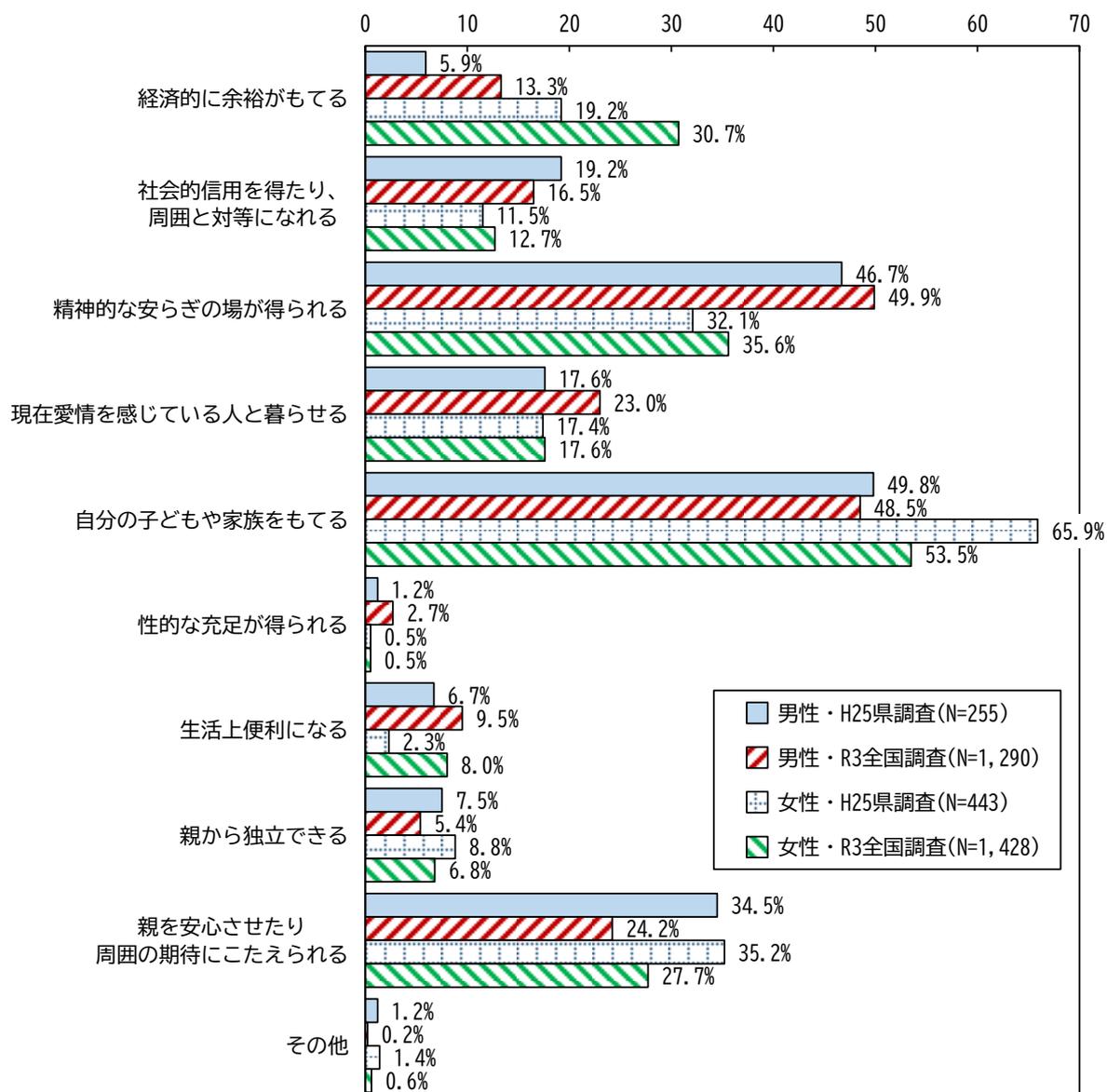
図表 結婚することの具体的な利点（2つ選択）



※集計対象：結婚経験のない20～39歳について、

最大の理由＝2点、第二の理由＝1点として合計し、対象の母数で割った値を得点とした

(参考) 図表 結婚することの具体的な利点 (過去調査)



※集計対象：結婚経験のない20～39歳

## (2) 独身生活の利点の有無

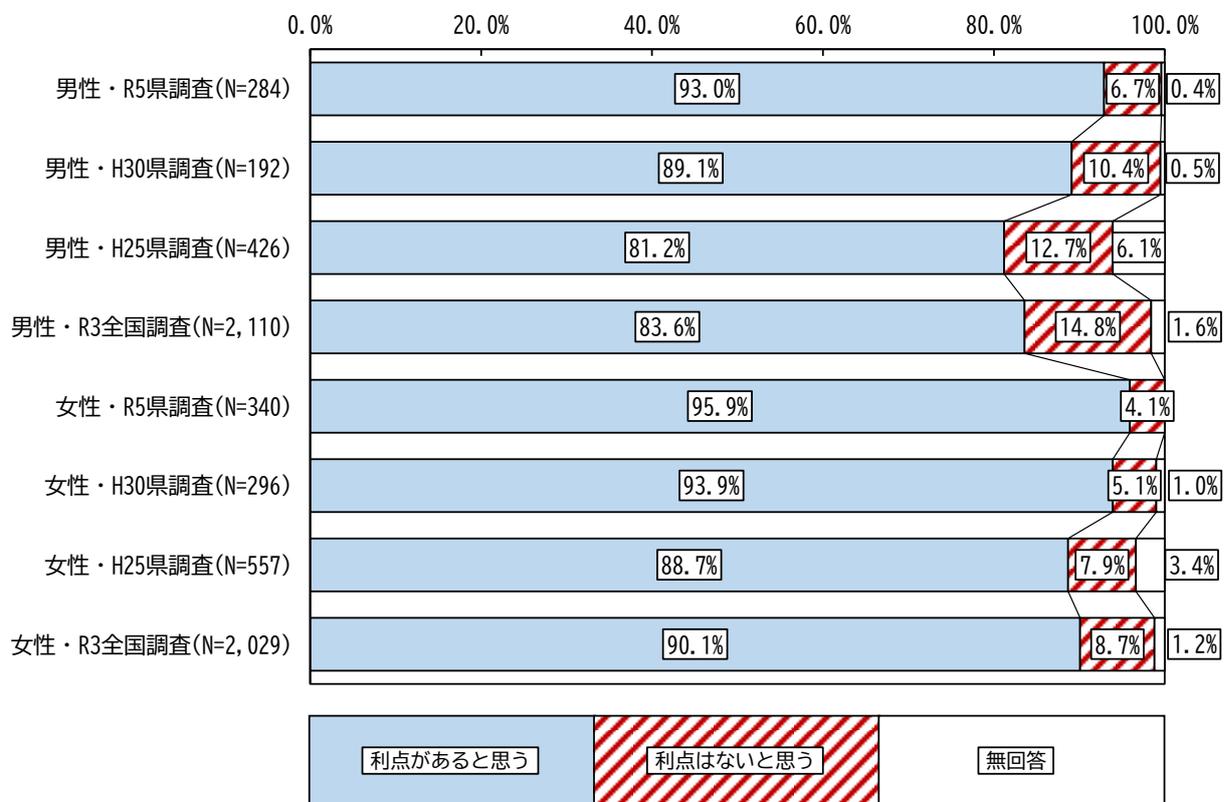
問2 逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。左下①のあてはまる番号に○をつけてください。また、①の1. に○をつけた方は、右側②の具体的な利点の中から最大の利点と第二の利点をそれぞれ1つ選んで右の回答欄に番号を記入してください。

### ①独身生活の利点の有無

結婚経験のない20～39歳の、独身生活の利点の有無をみると、男性では「利点があると思う」が93.0%となっている。前回調査に比べて、「利点があると思う」の割合が3.9ポイント上昇している。

女性では「利点があると思う」が95.9%となっている。前回調査に比べて、「利点があると思う」の割合が2.0ポイント上昇している。

図表 独身生活の利点



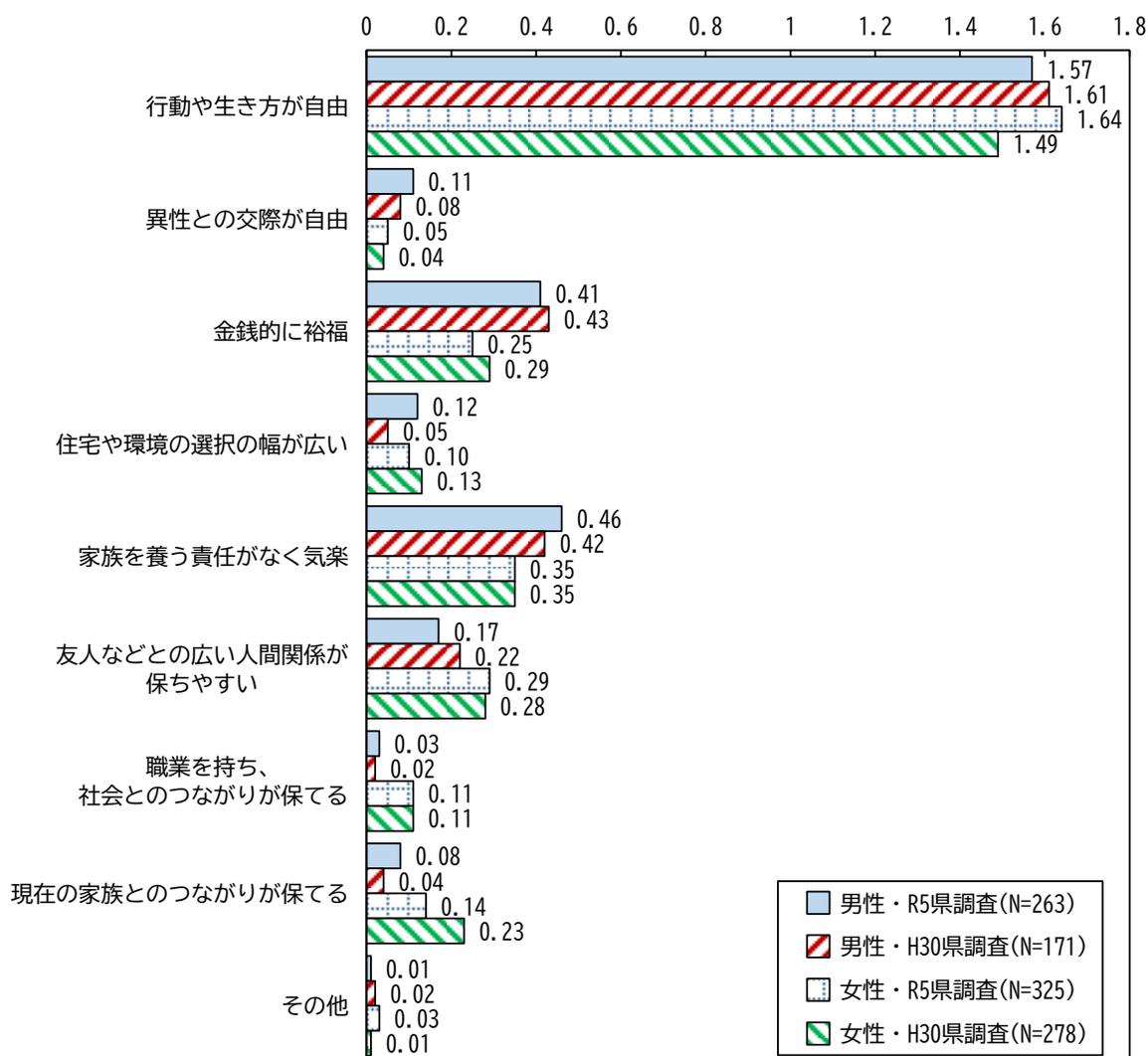
※集計対象：結婚経験のない20～39歳

## ②独身生活の具体的な利点

結婚経験のない20～39歳の、独身生活の具体的な利点をみると、男性では「行動や生き方が自由」が1.57点で最も多く、次いで「家族を養う責任がなく気楽」が0.46点、「金銭的に裕福」が0.41点となっている。

女性では「行動や生き方が自由」が1.64点で最も多く、次いで「家族を養う責任がなく気楽」が0.35点、「友人などとの広い人間関係が保ちやすい」が0.29点となっている。

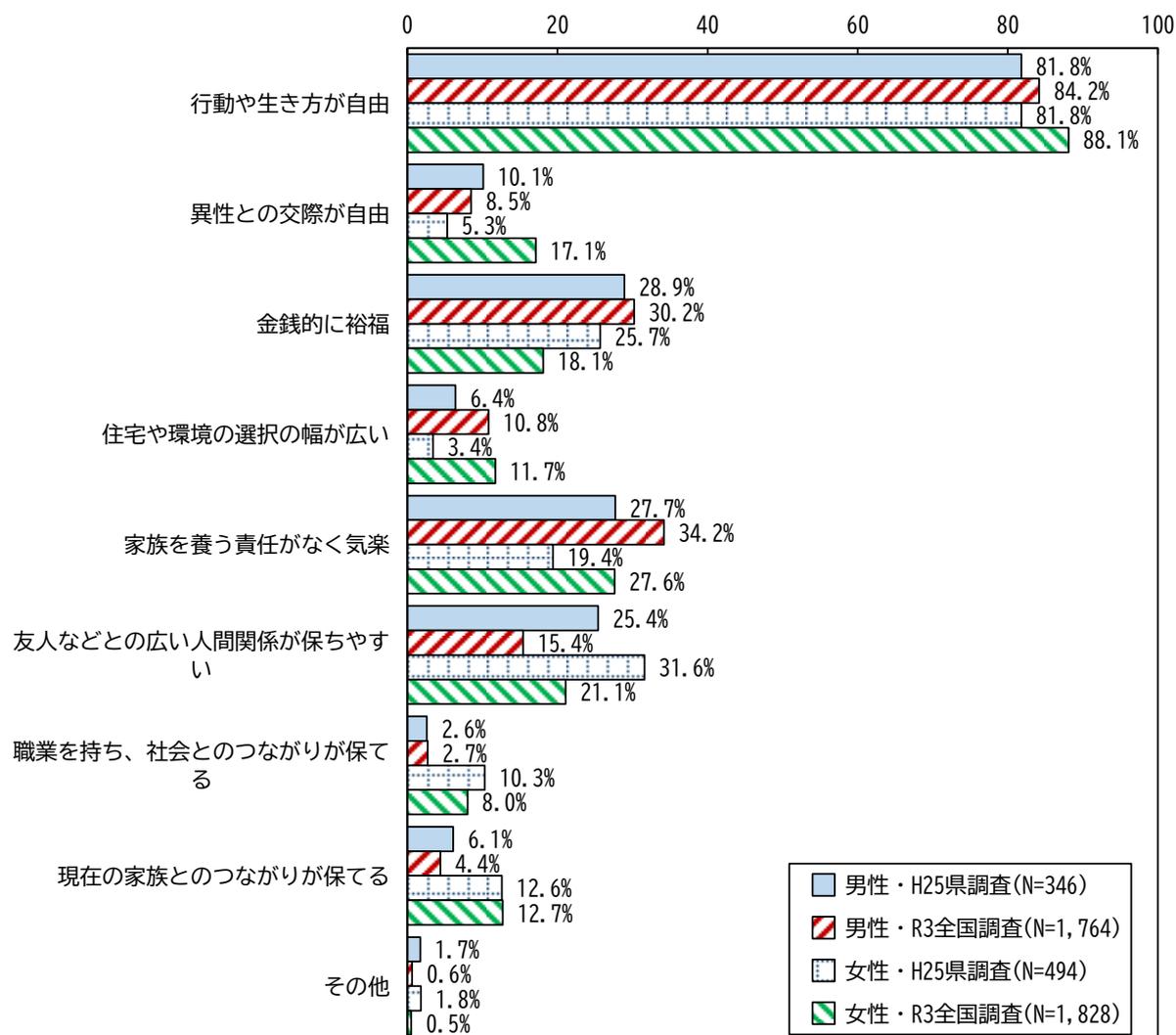
図表 独身生活の具体的な利点（2つ選択）



※結婚経験のない20～39歳について、

最大の理由＝2点、第二の理由＝1点として合計し、対象の母数で割った値を得点とした

(参考) 図表 独身生活の具体的な利点 (過去調査)



※集計対象：結婚経験のない20～39歳

### (3) 希望するライフコース

問3 下記に女性・男性の生き方のタイプがいくつか示してあります。それぞれ最も近いと思われるタイプの番号を選択肢から選び、回答欄に記入してください。

独身者は「結婚・出産・子育て」と「就業」との関係をもどのように考えているのか、理想とするライフコースと実際になりそうなライフコースについてそれぞれたずねた。

#### (3) - 1 女性のライフコース

- ①あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
- ②理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。(女性の方へ)
- ③パートナー(あるいは妻)となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

女性	非婚就業コース	結婚せず、仕事を続ける
	DINKSコース	結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける
	両立コース	結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける
	再就職コース	結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
	専業主婦コース	結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

#### 【女性の理想のライフコース】

24歳以下、25～29歳、30～34歳、40～44歳、45～49歳では「両立コース」の割合が最も多く、次いで「再就職コース」となっている。

35～39歳では「両立コース」の割合が最も多く、次いで「専業主婦コース」となっている。

#### 【女性の予定のライフコース】

24歳以下、30～34歳では「非婚就業コース」の割合が最も多く、次いで「両立コース」となっている。

25～29歳では「両立コース」の割合が最も多く、次いで「非婚就業コース」となっている。

35～39歳では「非婚就業コース」の割合が最も多く、次いで「再就職コース」となっている。

40～44歳では「非婚就業コース」の割合が最も多く、次いで「DINKSコース」「両立コース」が同率となっている。

45～49歳では「非婚就業コース」の割合が最も多く、次いで「その他」となっている。

前回調査と比べて、25～29歳では「両立コース」「非婚就業コース」、30歳以上では「非婚就業コース」の割合が上昇している。

予定と理想とを比べると、25～29歳以外のすべての年代で「両立コース」を予定する割合が理想より低く、すべての年代で「非婚就業コース」を予定する割合が理想より高くなっている。25～29歳では「両立コース」を予定割合が理想より高くなっている。

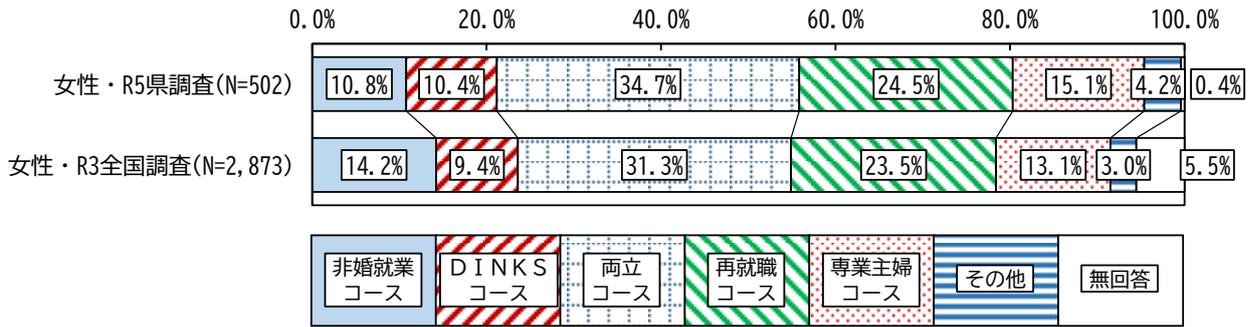
#### 【男性が期待する女性のライフコース】

24歳以下、35～39歳、40～44歳、45～49歳では「両立コース」の割合が最も多く、次いで「再就職コース」となっている。

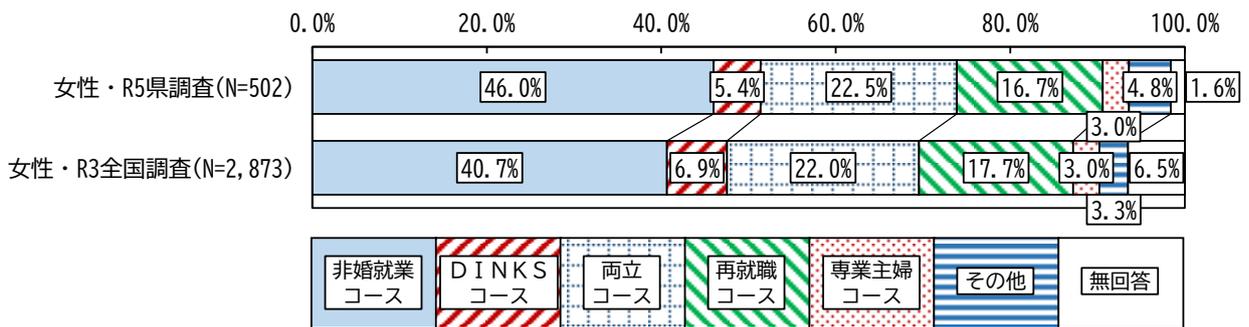
25～29歳、30～34歳では「再就職コース」の割合が最も多く、次いで「両立コース」となっている。

女性の理想のライフコースと比べてみると、女性の理想はすべての年代で「専業主婦」「非婚就業コース」の割合が男性の期待より高く、44歳以下の年代で「再就職コース」の割合が男性の期待より低くなっている。

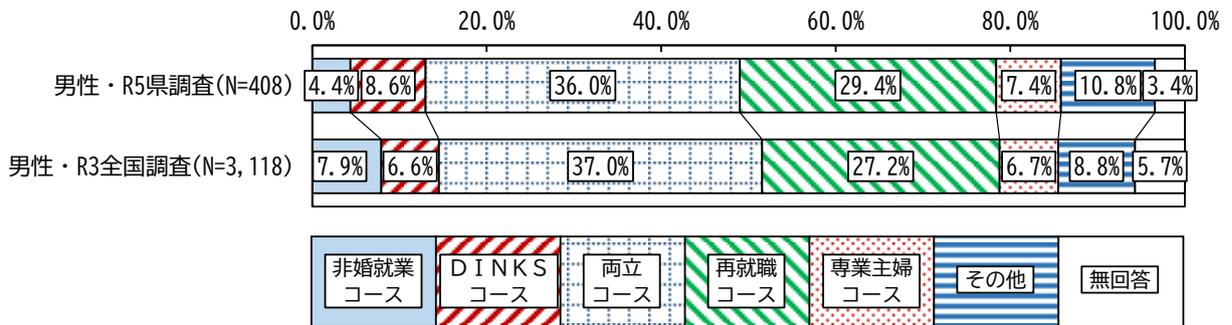
図表 女性が理想とするライフコース（全国調査比較）



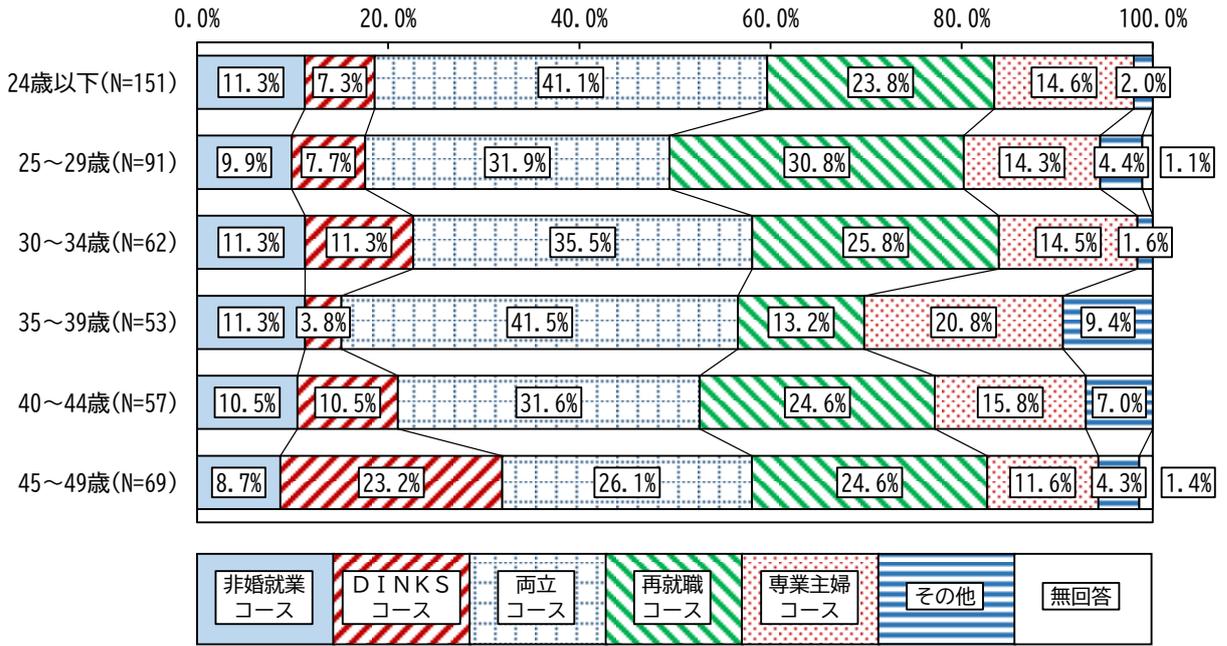
図表 女性が実際に予定するライフコース（全国調査比較）



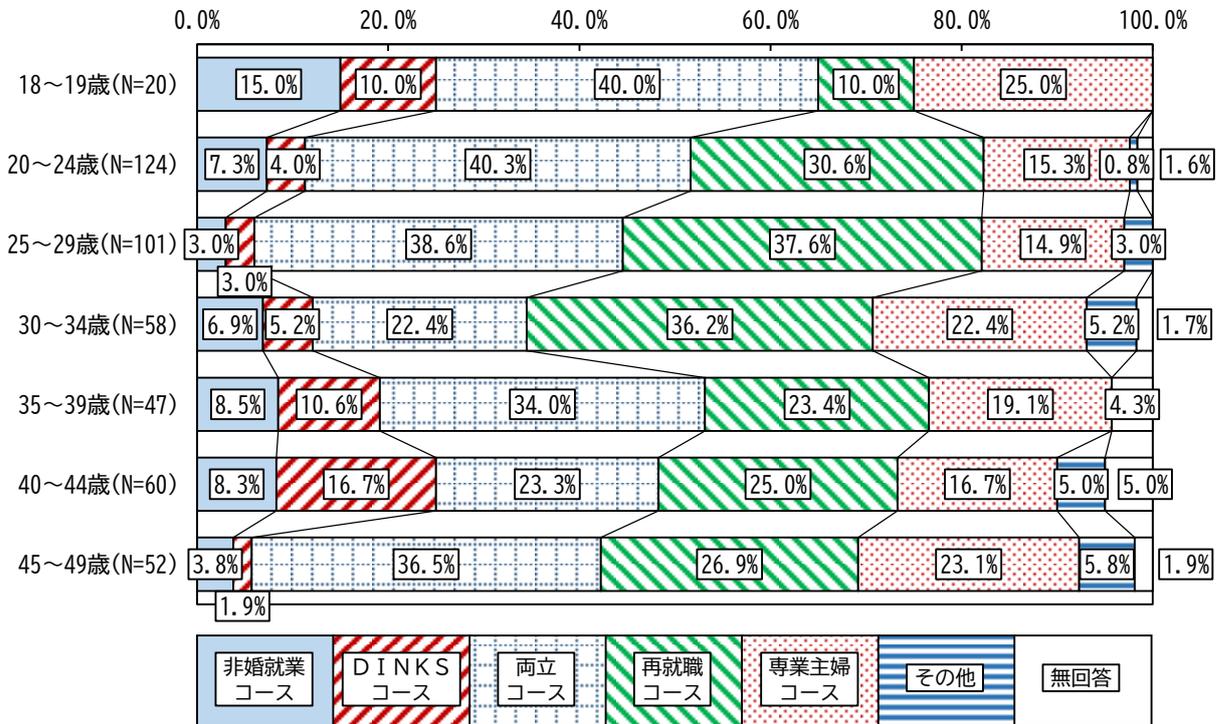
図表 男性が女性に期待するライフコース（全国調査比較）



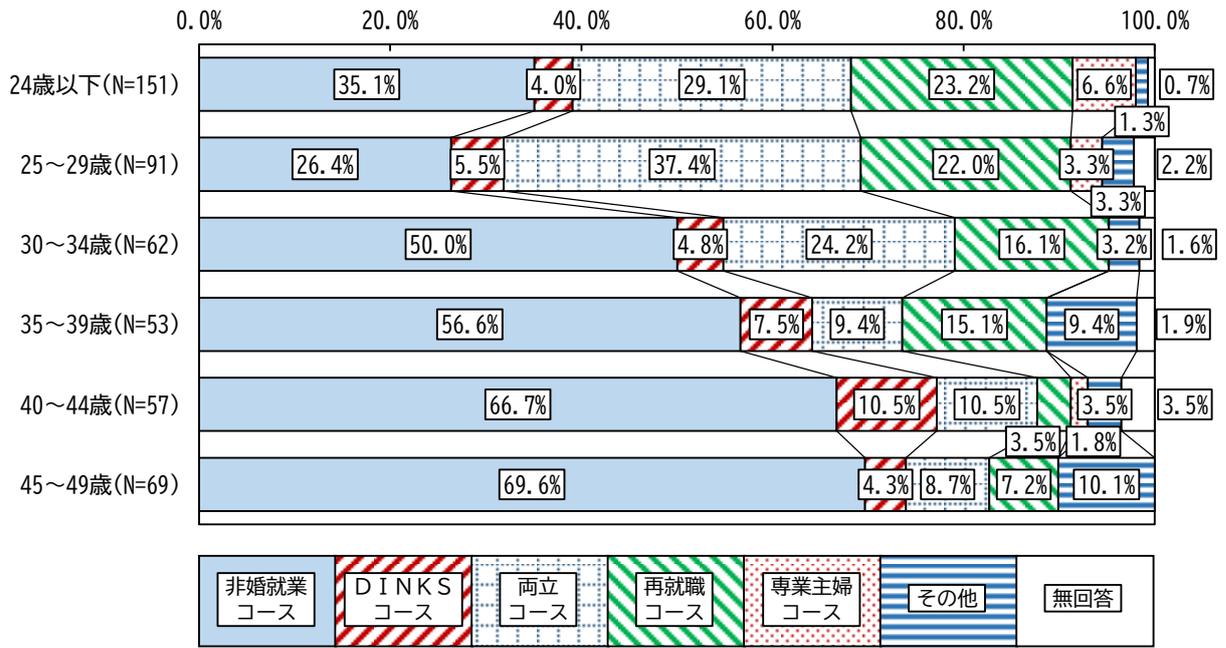
図表 年齢別 女性が理想とするライフコース



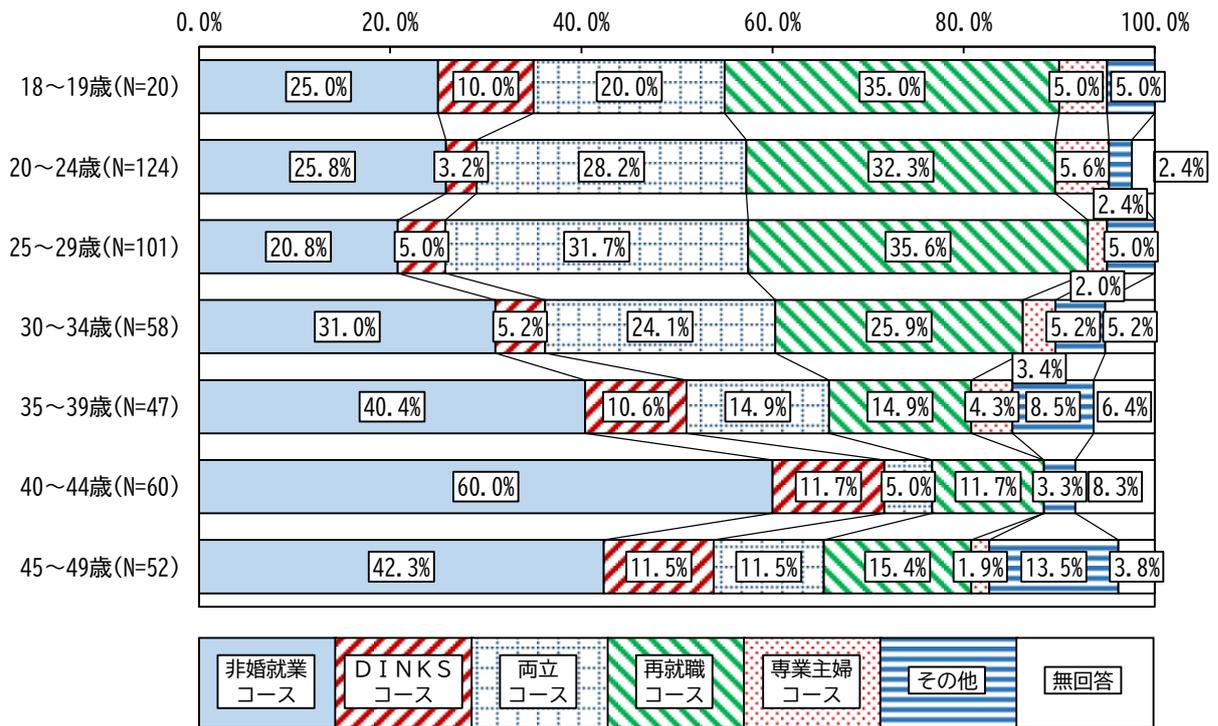
(参考) 図表 年齢別 女性が理想とするライフコース (H30 県調査)



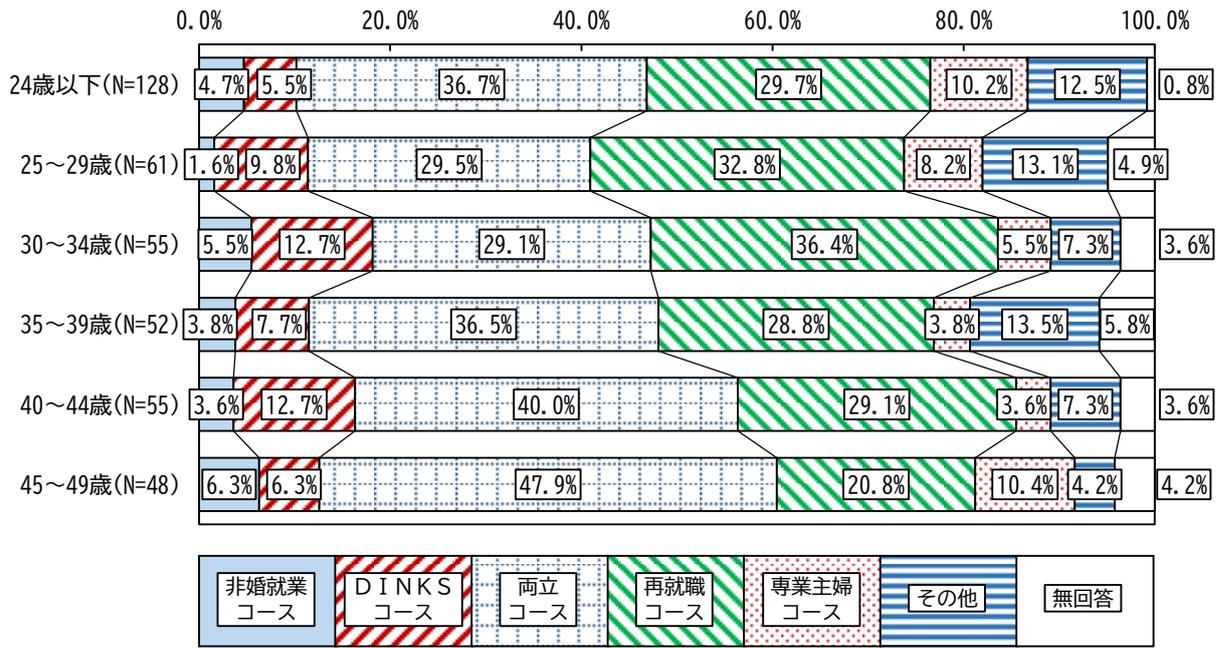
図表 年齢別 女性が実際に予定するライフコース



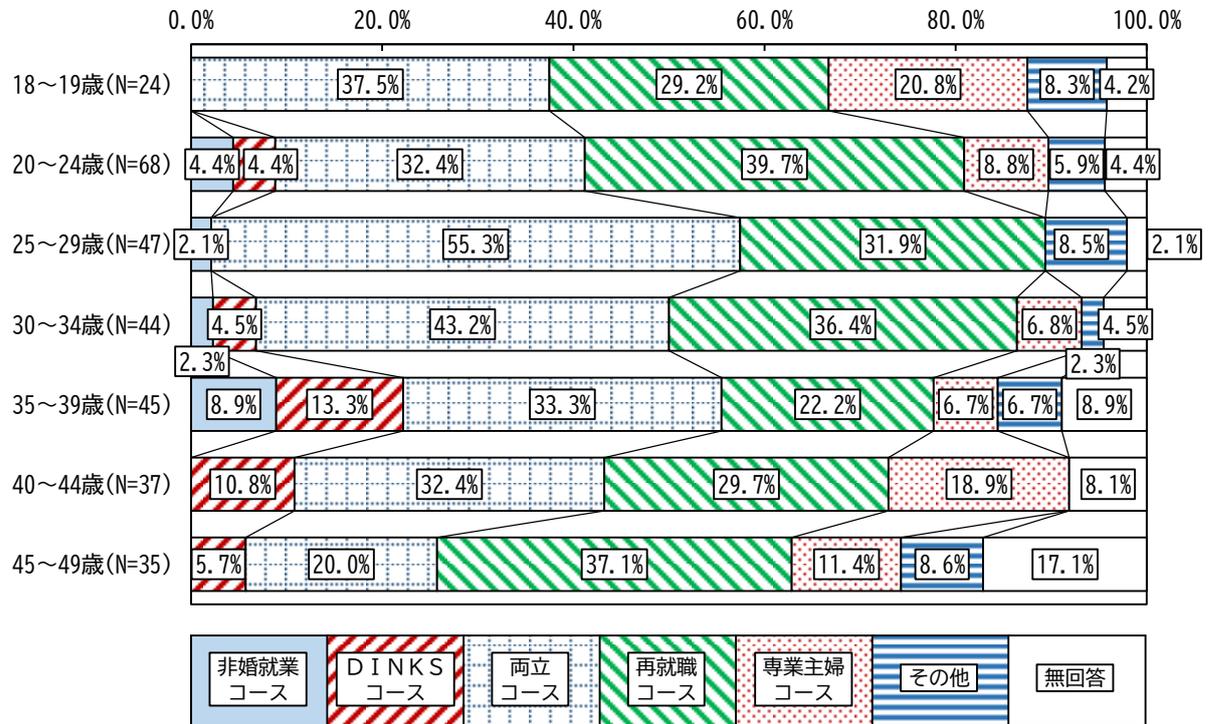
(参考) 図表 年齢別 女性が実際に予定するライフコース (H30 県調査)



図表 年齢別 男性が女性に期待するライフコース



(参考) 図表 年齢別 男性が女性に期待するライフコース (H30 県調査)



### (3) -2 男性のライフコース

- ①あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
- ②理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。(男性の方へ)
- ③パートナー(あるいは夫)となる男性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

男性	非婚就業コース	結婚せず、仕事を続ける
	DINKSコース	結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける
	仕事中心コース	結婚し、子どもを持つが、子育てはパートナー(妻)にまかせて、仕事を中心とした生活を送る
	両立コース(できるだけ子育て参加)	結婚し、子どもを持ち仕事を続けるが、できるだけ子育てにも参加する
	両立コース(積極的に子育て参加)	結婚し、子どもを持ち仕事を続けるが、積極的に子育てにも参加する
	専業主夫コース	結婚し、子どもを持つが、仕事はパートナー(妻)にまかせて、仕事を辞め、家庭を中心とした生活を送る

#### 【男性の理想のライフコース】

24歳以下、25～29歳、40～44歳では「両立コース(積極的に子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「両立コース(できるだけ子育て参加)」となっている。

30～34歳では「両立コース(積極的に子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「非婚就業コース」「両立コース(できるだけ子育て参加)」が同率となっている。

35～39歳、45～49歳では「両立コース(できるだけ子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「両立コース(積極的に子育て参加)」となっている。

#### 【男性の予定のライフコース】

24歳以下では「両立コース(できるだけ子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「非婚就業コース」となっている。

25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳では「非婚就業コース」の割合が最も多く、次いで「両立コース(できるだけ子育て参加)」となっている。

理想と予定を比べると、すべての年代で「両立コース(積極的に子育て参加)」を予定する割合は理想より低く、「非婚就業コース」を予定する割合は理想より高くなっている。25～29歳では「両立コース(積極的に子育て参加)」「両立コース(できるだけ子育て参加)」を予定する割合が理想より低く、「仕事中心」を予定する割合が理想より高くなっている。

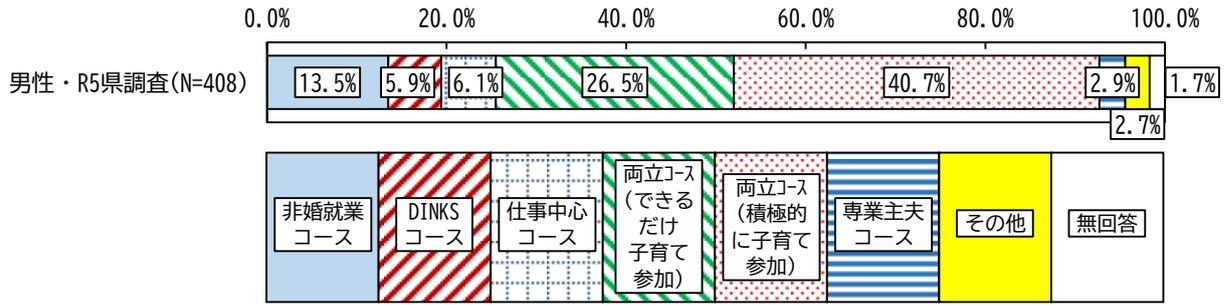
#### 【女性が期待する男性のライフコース】

24歳以下、25～29歳、30～34歳、35～39歳、45～49歳では「両立コース(積極的に子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「両立コース(できるだけ子育て参加)」となっている。

40～44歳では「両立コース(できるだけ子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「両立コース(積極的に子育て参加)」となっている。

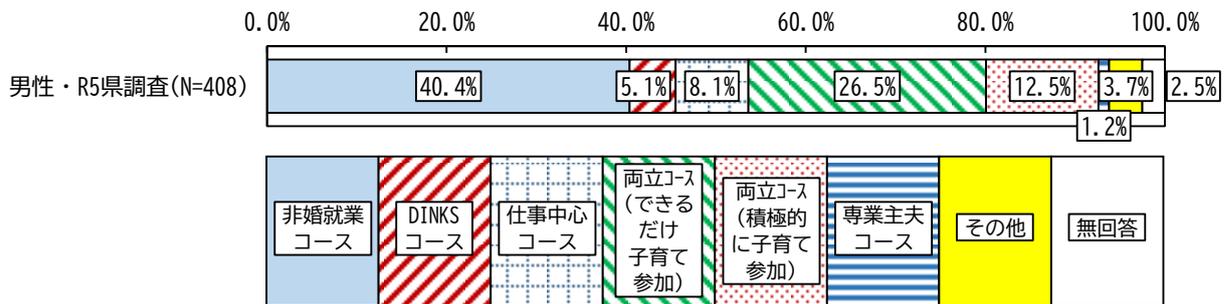
男性の理想のライフコースと比べてみると、男性の理想は40～44歳以外のすべての年代で「両立コース(積極的に子育て参加)」の割合が女性の期待より低く、「非婚就業コース」の割合が女性の期待より高くなっている。また、すべての年代で「DINKSコース」を理想とする割合が女性の期待より低くなっている。

図表 男性が理想とするライフコース



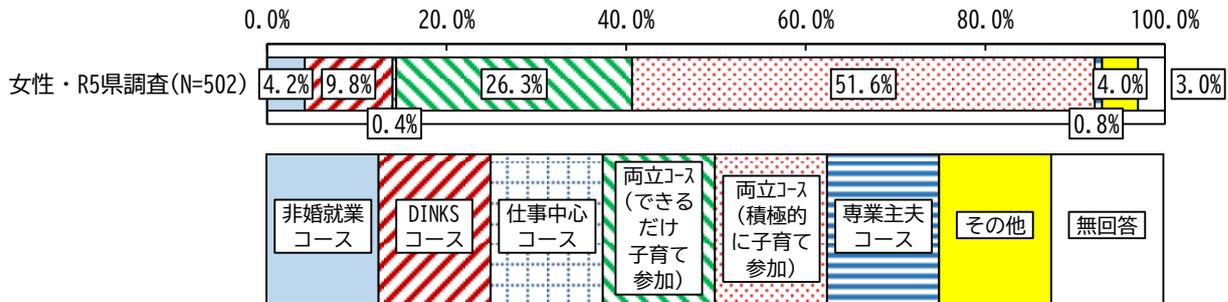
※R3 全国調査では女性が理想とするライフコースのみ聴取

図表 男性が実際に予定するライフコース



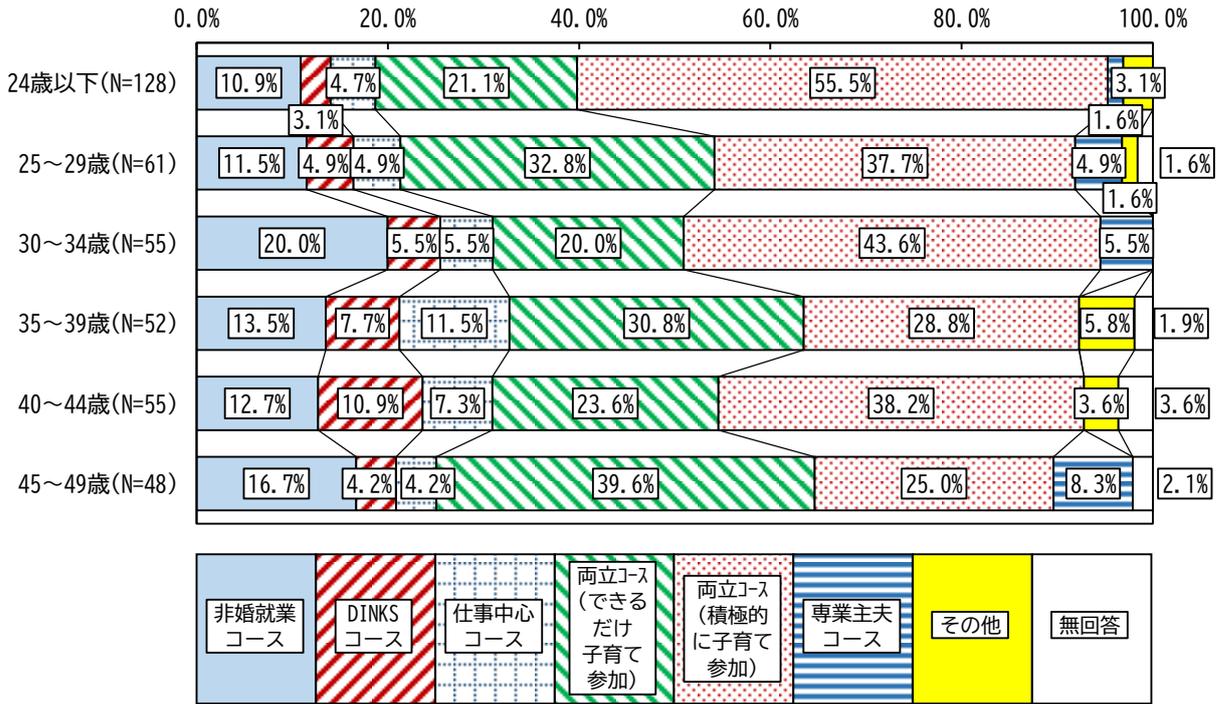
※R3 全国調査では女性が実際に予定するライフコースのみ聴取

図表 女性が男性に期待するライフコース

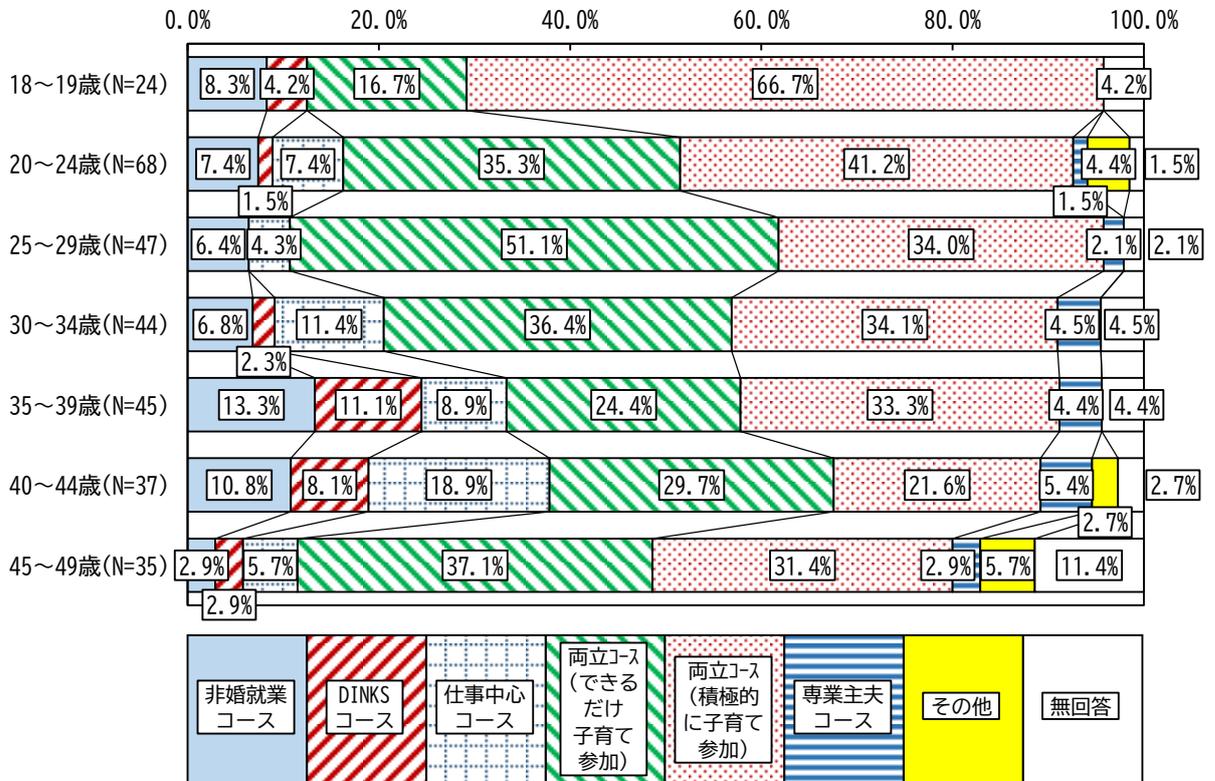


※R3 全国調査では男性が女性に期待するライフコースのみ聴取

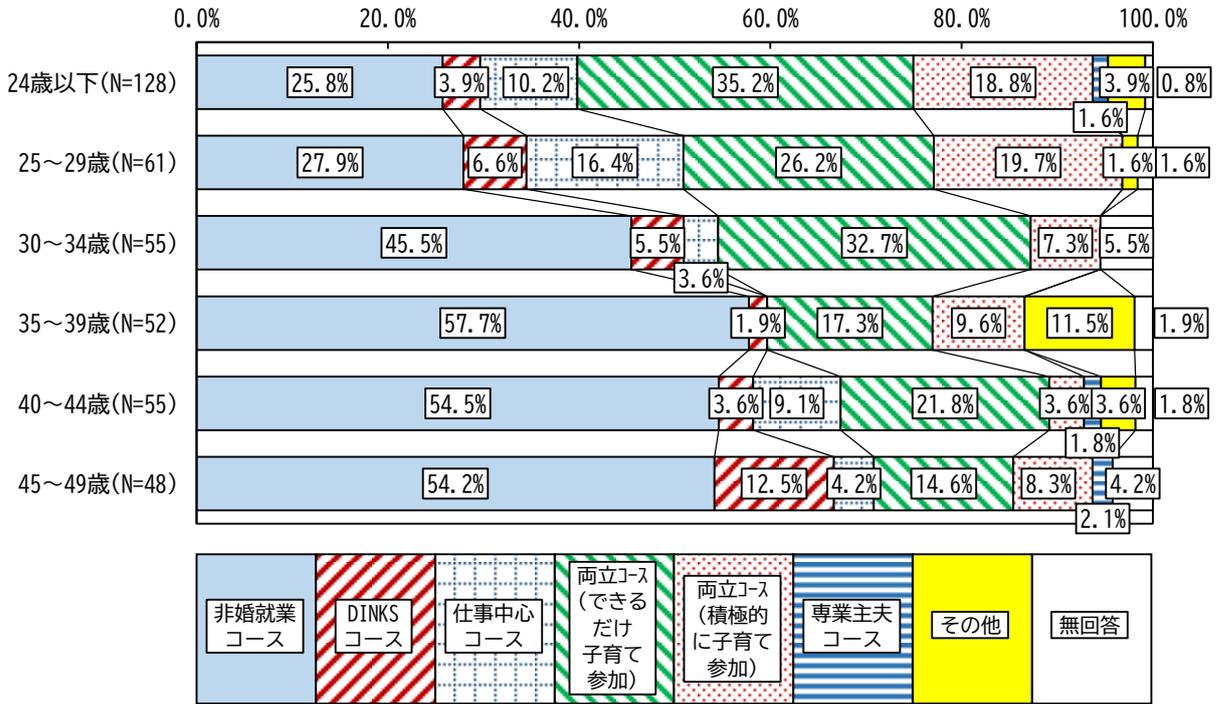
図表 年齢別 男性が理想とするライフコース



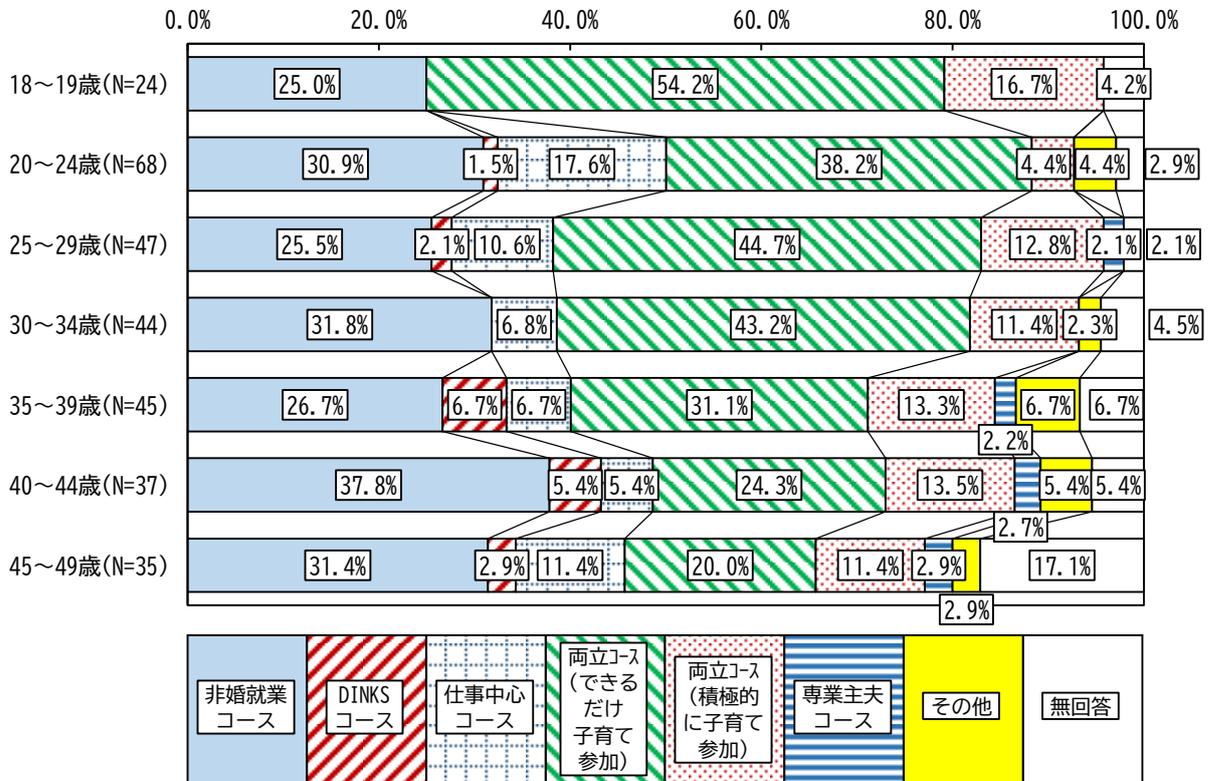
(参考) 図表 年齢別 男性が理想とするライフコース (H30 県調査)



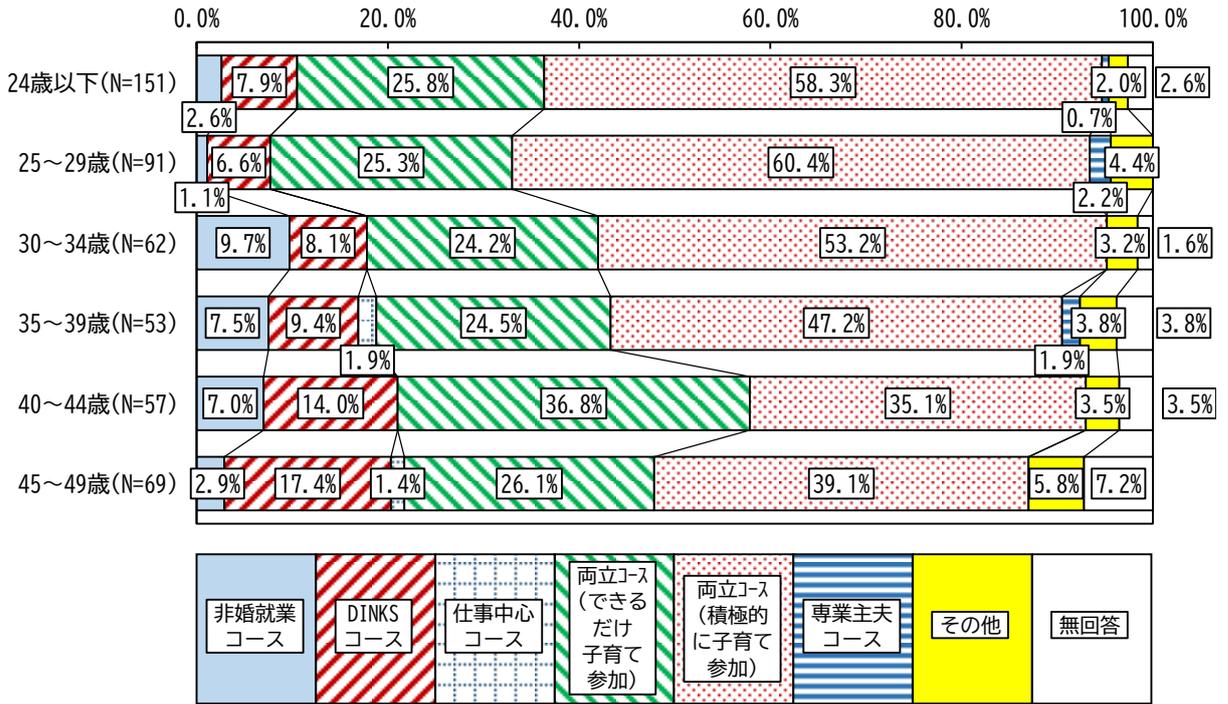
図表 年齢別 男性が実際に予定するライフコース



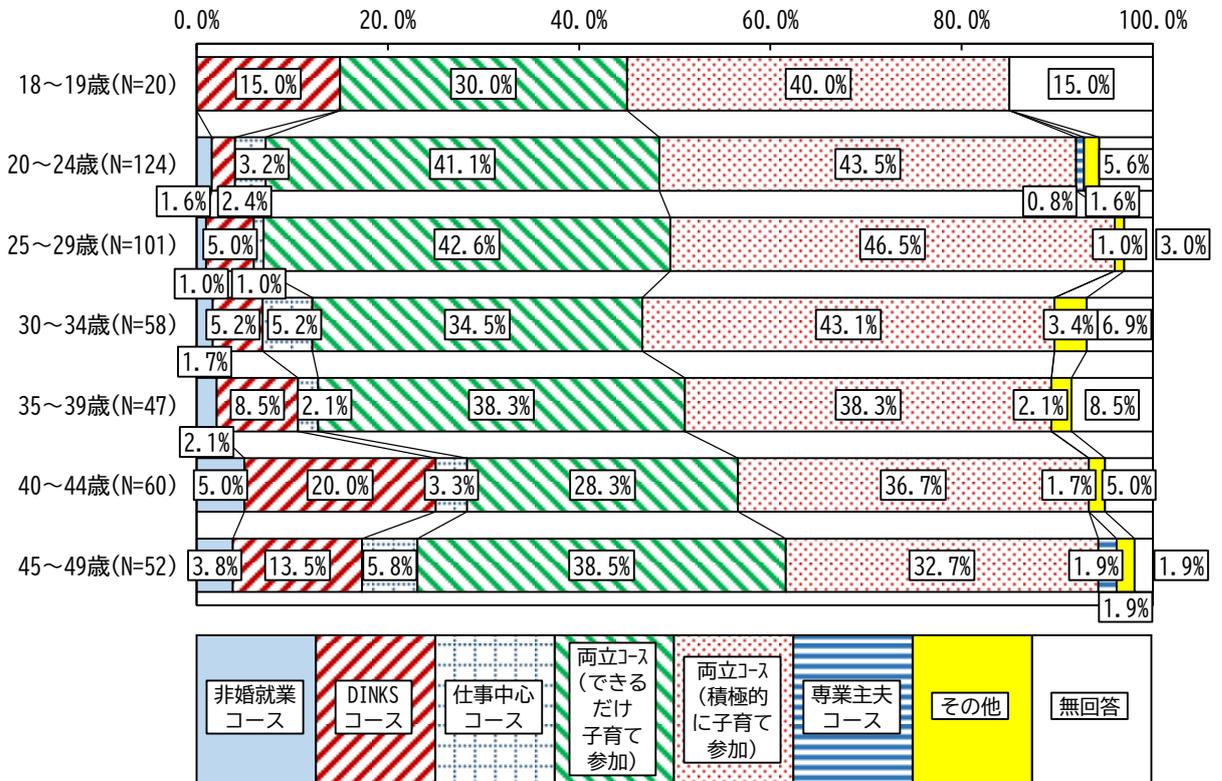
(参考) 図表 年齢別 男性が実際に予定するライフコース (H30 県調査)



図表 年齢別 女性が男性に期待するライフコース



(参考) 図表 年齢別 女性が男性に期待するライフコース (H30 県調査)



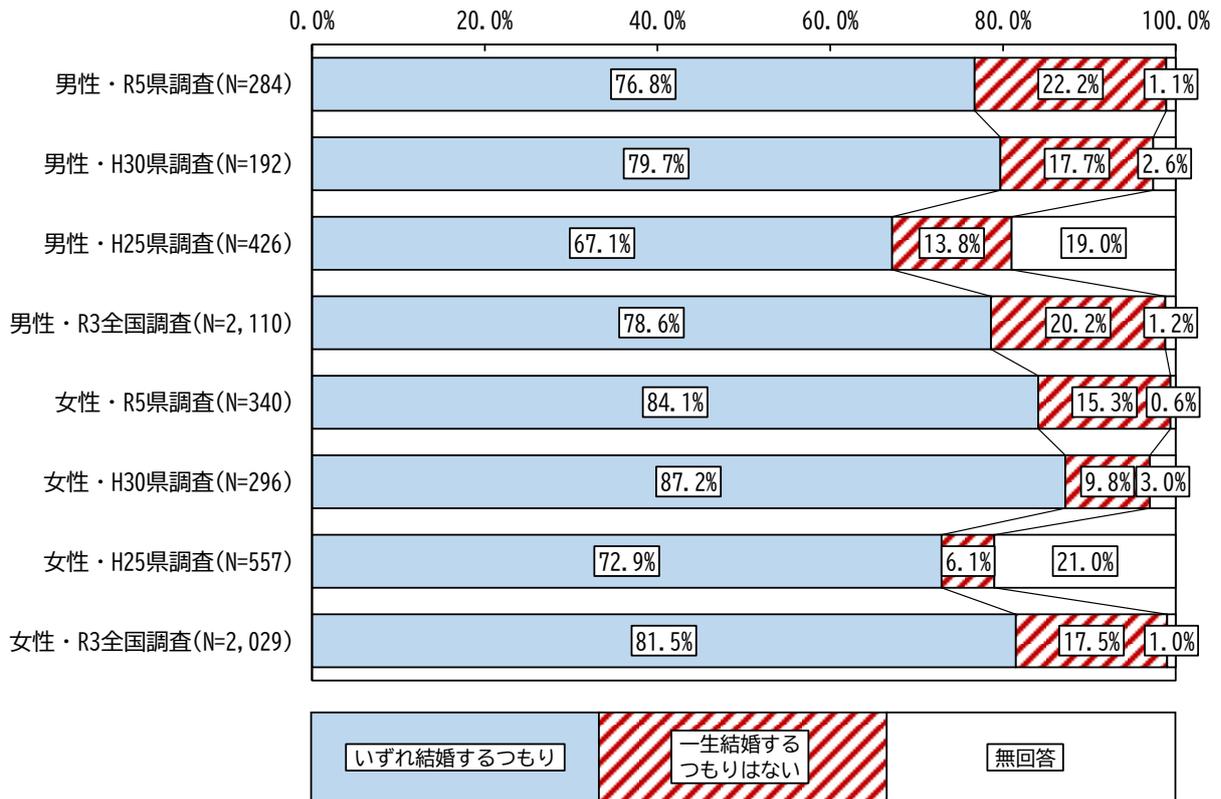
#### (4) 結婚意欲

問4 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。  
(○は1つ)

結婚経験のない20～39歳の、結婚意欲をみると、男性では「いずれ結婚するつもり」が76.8%となっており、前回調査に比べて大きな変化はみられない。

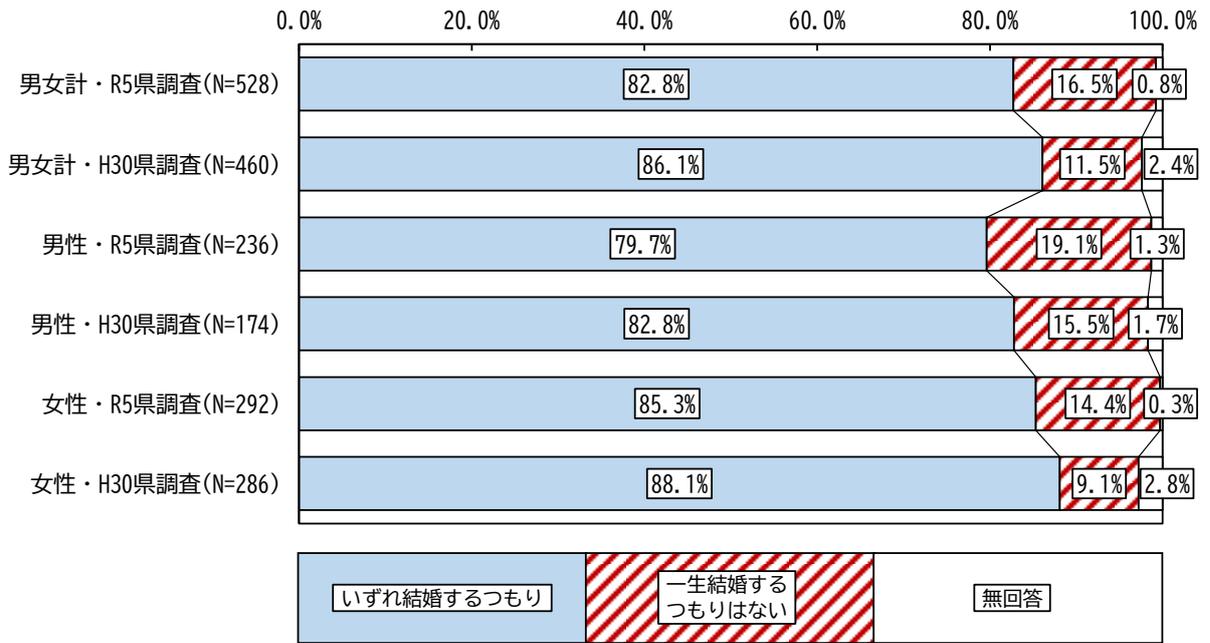
女性では「いずれ結婚するつもり」が84.1%となっており、前回調査に比べて大きな変化はみられない。

図表 結婚意欲



※集計対象：結婚経験のない20～39歳

図表 若年層の結婚意欲



※集計対象：結婚経験のない35歳未満（性別不明を除く）

(5) 結婚時期についての考え

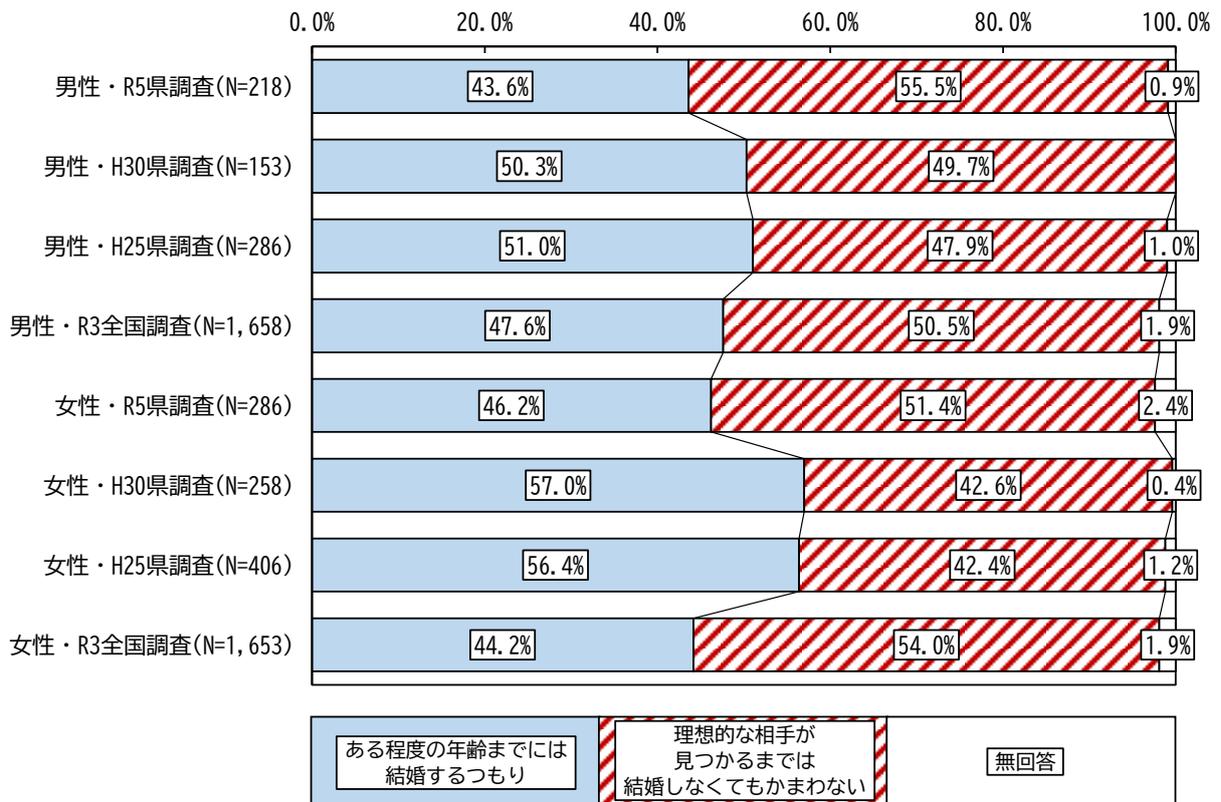
問5～7、9、11～12は問4で1に○をつけた方（いずれ結婚するつもりの方）にうかがいます。2に○をつけた方は問13に進んでください。

問5 同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。（○は1つ）

結婚経験のない20～39歳の、結婚時期についての考えをみると、男性では「ある程度の年齢までには結婚するつもり」が43.6%となっており、前回調査に比べて、6.7ポイント低下している。

女性では「ある程度の年齢までには結婚するつもり」が46.2%となっており、前回調査に比べて10.8ポイント低下している。

図表 結婚時期についての考え



※集計対象：結婚経験がなく、いずれ結婚するつもりの方の20～39歳

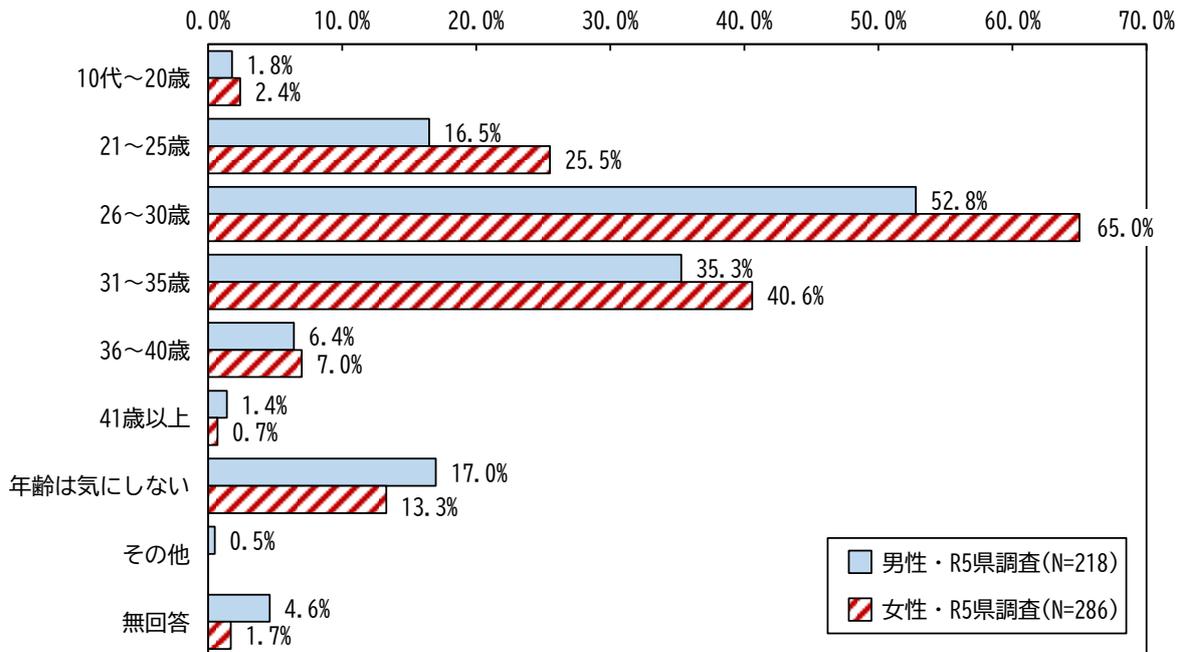
## (6) 希望結婚年齢

問6 理想的な初婚年齢はいつ頃だとお考えですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

いずれ結婚するつもりの方の20～39歳の希望初婚年齢をみると、男女とも「26～30歳」が最も多く、男性で52.8%、女性で65.0%となっている。次いで「31～35歳」が男性35.3%、女性40.6%となっている。

男性と女性を比べると、女性は「21～25歳」が9.0ポイント、「26～30歳」が12.2ポイント男性より高くなっている。

図表 希望初婚年齢



※集計対象：結婚経験がなく、いずれ結婚するつもりの方の20～39歳

※新規質問項目

## (7) 現在独身でいる理由

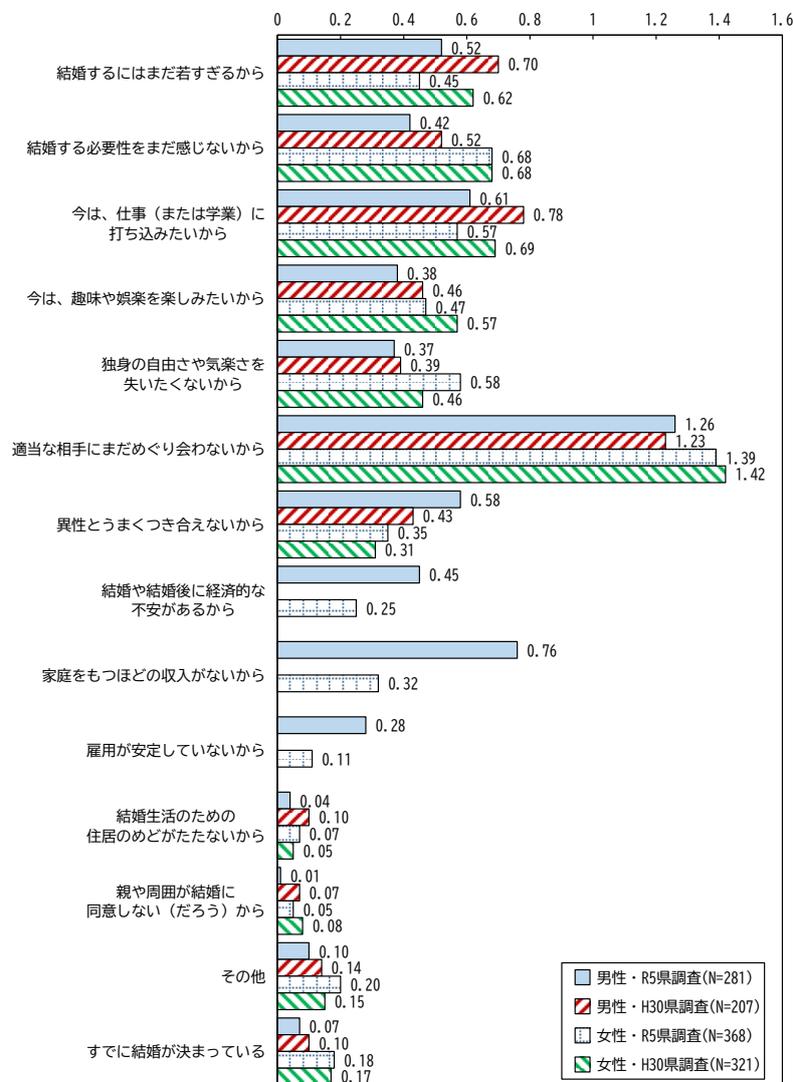
問7 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。自分にあてはまると思われる**最大の理由**、**第二の理由**、**第三の理由**をそれぞれ1つ選んで、右の回答欄に番号を記入してください。(すでに結婚が決まっている方は、「最大の理由」の欄に14と記入してください)

### ①現在独身でいる理由

現在独身でいる理由をみると、男性では「適当な相手にまだめぐり合わないから」が1.26点で最も多く、次いで「家庭をもつほどの収入がないから」が0.76点、「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから」が0.61点となっている。

女性では「適当な相手にまだめぐり合わないから」が1.39点で最も多く、次いで「結婚する必要性をまだ感じないから」が0.68点、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が0.58点となっている。

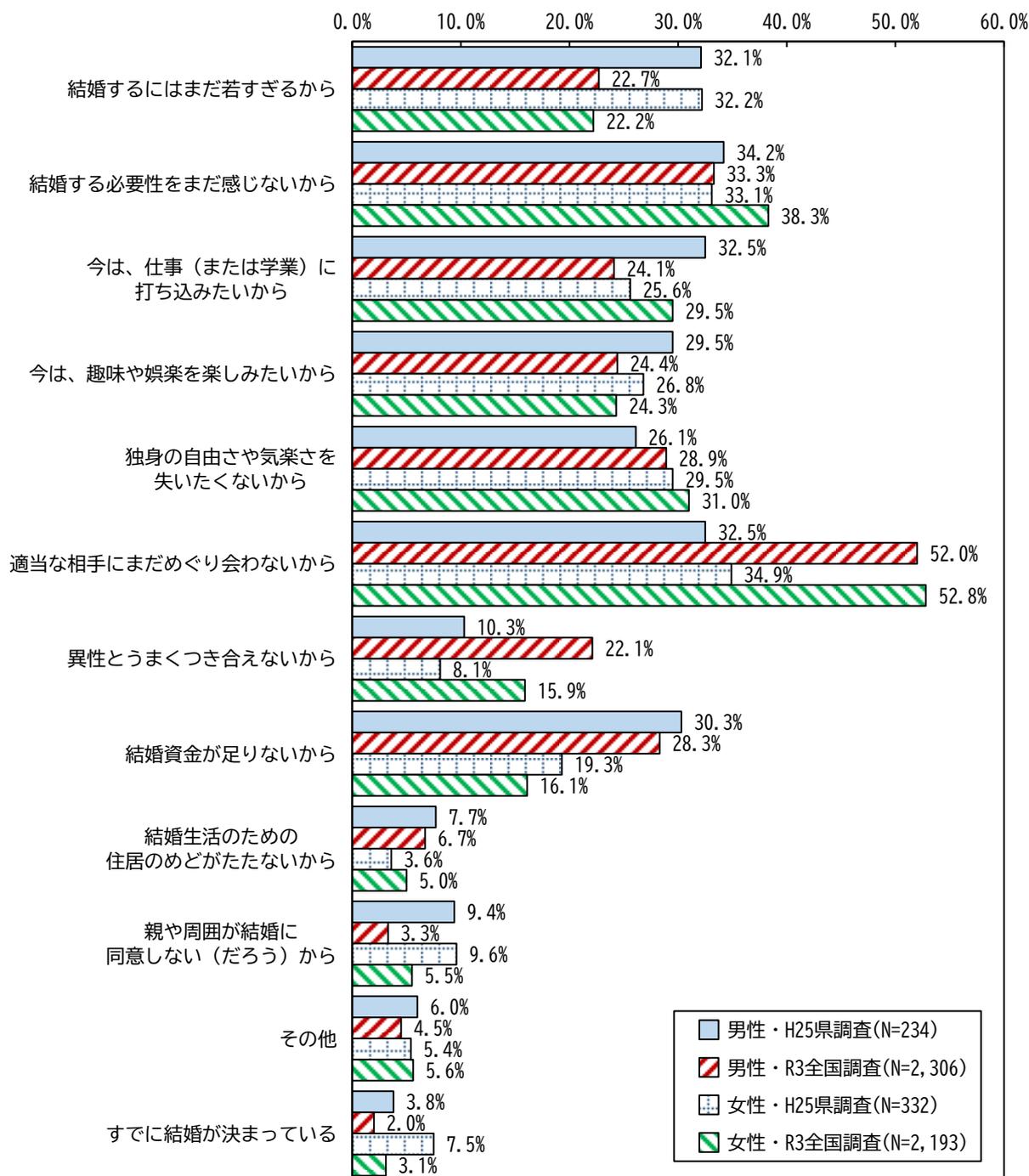
図表 現在独身でいる理由（あてはまる理由を3つ選択）



※「結婚や結婚後に経済的な不安があるから」「家庭をもつほどの収入がないから」「雇用が安定していないから」は今回調査からの新規項目

※結婚経験のない方について、最大の理由 = 3点、第二の理由 = 2点、第三の理由 = 1点として合計し、対象の母数で割った値を得点とした

(参考) 図表 現在独身でいる理由 (過去調査、全国調査)



問7で「6.」（適切な相手にまだめぐり会わないから）を選択した方にうかがいます。

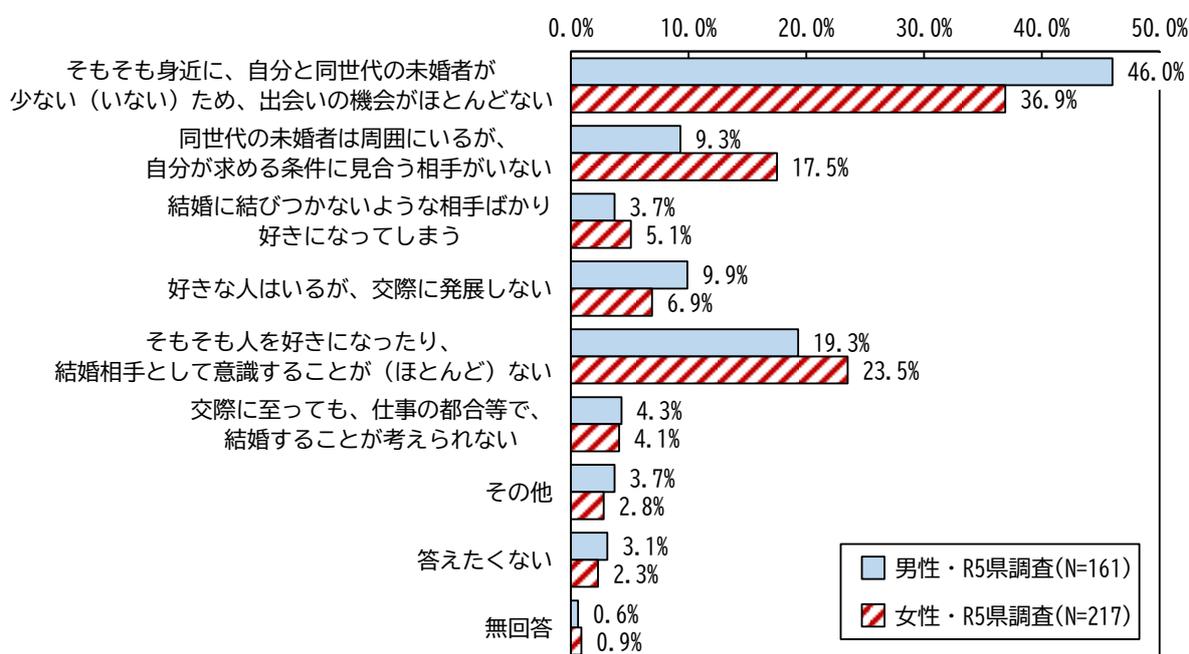
問8 「適切な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

②適切な相手にめぐり会わない理由

適切な相手にめぐり会わない理由をみると、男女とも「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が最も多く、男性で46.0%、女性で36.9%となっている。次いで「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない」が男性で19.3%、女性で23.5%となっている。

男性と女性を比べると、男性は「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が9.1ポイント女性より高く、女性は「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がない」が8.2ポイント男性より高くなっている。

図表 適切な相手にめぐり会わない理由



※新規質問項目

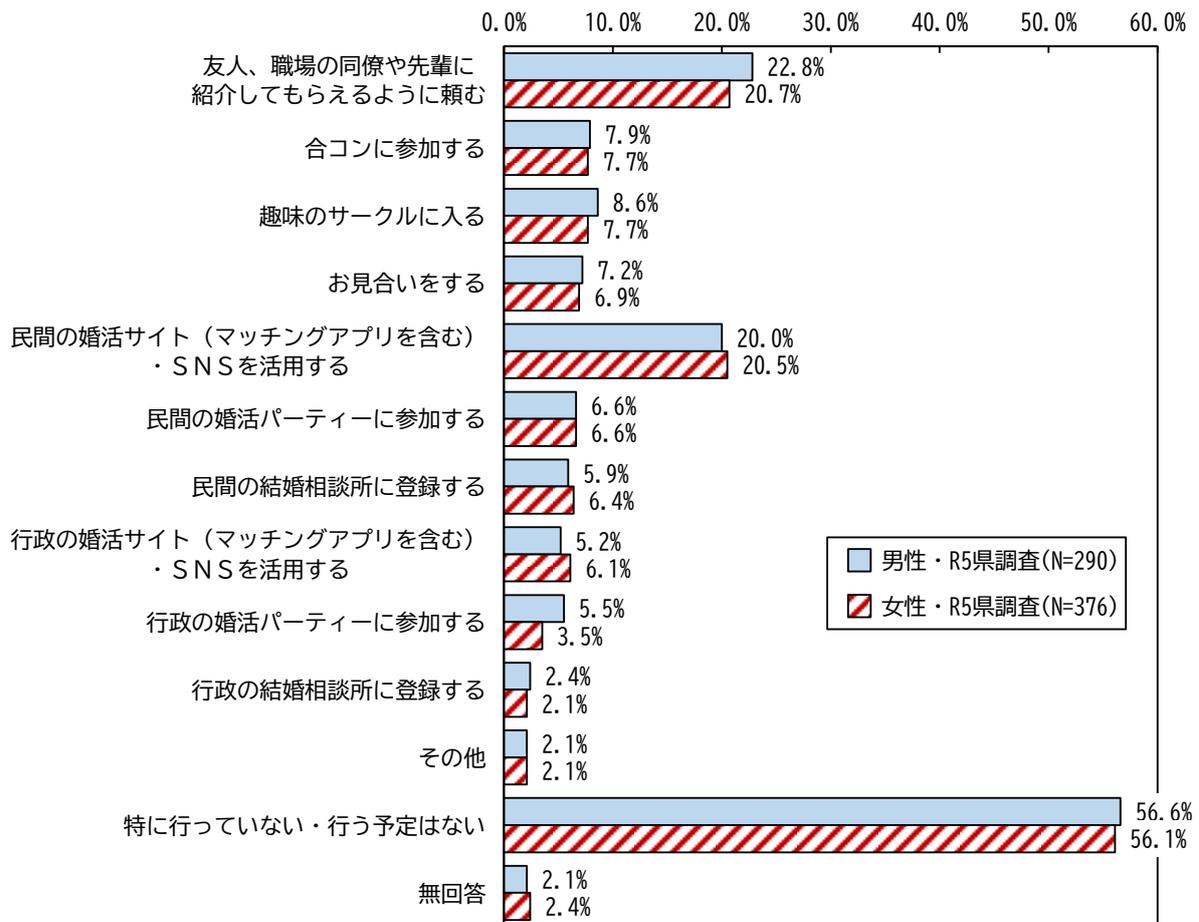
## (8) 婚活状況

問9 あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

### ①「婚活」としてどのようなことを行っているか

「婚活」としてどのようなことを行っているかをみると、男女とも「友人、職場の同僚や先輩に紹介してもらえるように頼む」が最も多く、男性で 22.8%、女性で 20.7%となっている。次いで「民間の婚活サイト（マッチングアプリを含む）・SNSを活用する」が男性で 20.0%、女性で 20.5%となっている。また「特に行っていない・行う予定はない」も男女とも半数以上を占める。

図表 「婚活」としてどのようなことを行っているか



※新規質問項目

問9で「12.」（特に行っていない・行う予定はない）を選択した方にうかがいます。

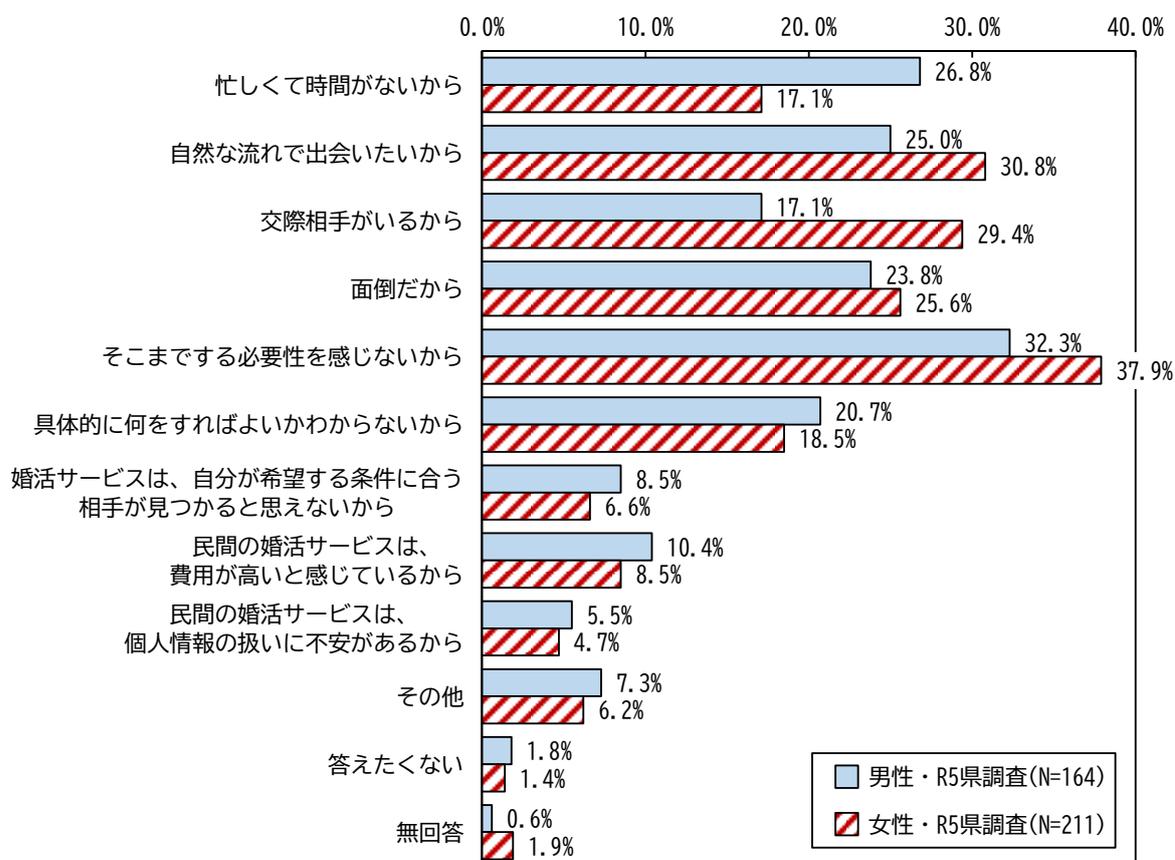
問10 婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

②「婚活」を行っていない理由

「婚活」を行っていない理由をみると、男女とも「そこまでする必要性を感じないから」が最も多く、男性で32.3%、女性で37.9%となっている。次いで男性では「忙しくて時間がないから」が26.8%、女性では「自然な流れで出会いたいから」が30.8%となっている。

男性と女性を比べると、男性は「忙しくて時間がないから」が9.7ポイント女性より高く、女性は「交際相手がいるから」が12.3ポイント、「自然な流れで出会いたいから」が5.8ポイント、「そこまでする必要性を感じないから」が5.6ポイント男性より高くなっている。

図表 「婚活」を行っていない理由



※新規質問項目

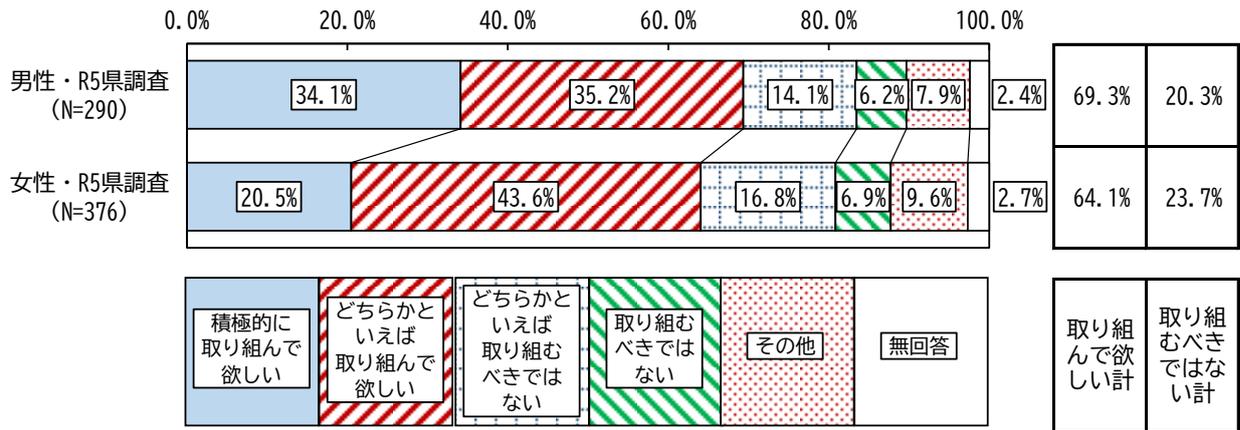
(9) 行政支援

問11 あなたは、県や市町村に結婚支援に関する施策（事業）に取り組んで欲しいと思いますか。

①結婚支援施策に取り組んで欲しいか

結婚支援策に取り組んで欲しいかについて、「積極的に取り組んで欲しい」と「どちらかといえば取り組んで欲しい」の割合の合計（＝取り組んで欲しい計）をみると、男性の方が5.2ポイント高くなっている。「積極的に取り組んで欲しい」も男性の方が13.6ポイント高くなっている。

図表 結婚支援施策に取り組んで欲しいか



※新規質問項目

問11で「1.」(積極的に取り組んで欲しい)「2.」(どちらかといえば取り組んで欲しい)を選択した方にうかがいます。

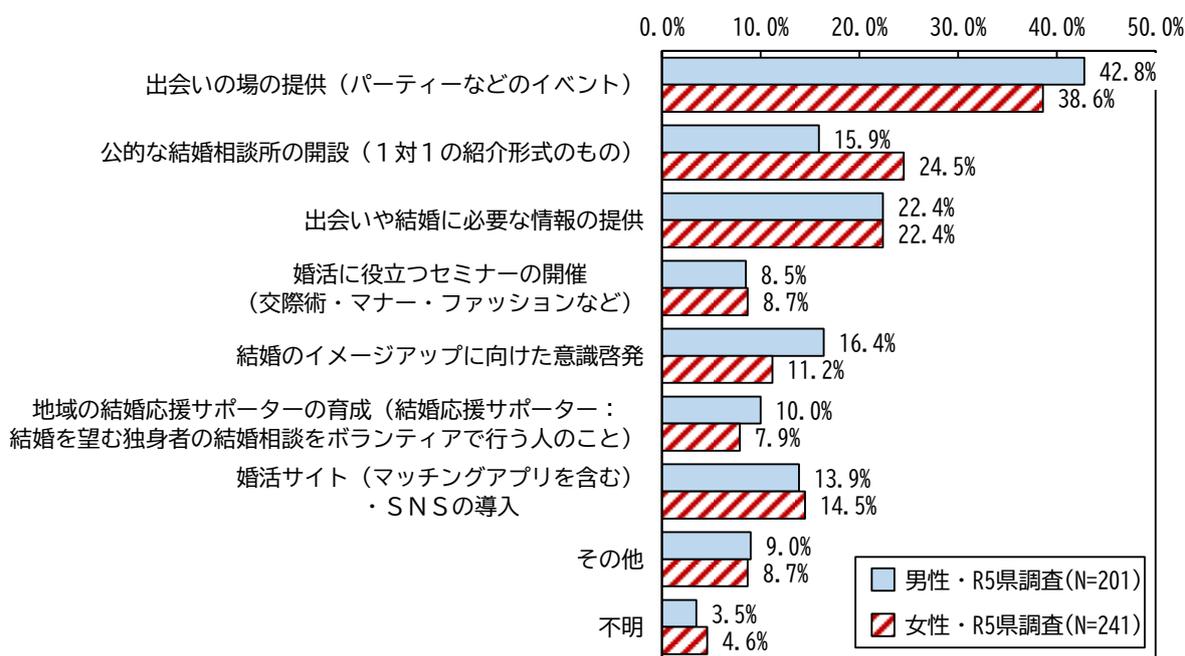
問11-1 出会い・結婚にかかわる支援として、どのようなことを行政に期待しますか。

②行政に期待すること

行政に期待することをみると、男女とも「出会いの場の提供（パーティーなどのイベント）」が最も多く、男性で42.8%、女性で38.6%となっている。次いで男性では「出会いや結婚に必要な情報の提供」が22.4%、女性では「公的な結婚相談所の開設（1対1の紹介形式のもの）」が24.5%となっている。

男性と女性を比べると、男性は「結婚のイメージアップに向けた意識啓発」が5.2ポイント、「出会いの場の提供（パーティーなどのイベント）」が4.2ポイント女性より高く、女性は「公的な結婚相談所の開設（1対1の紹介形式のもの）」が8.6ポイント男性より高くなっている。

図表 行政に期待すること



※新規質問項目

(10) 結婚相手を決める際に重視すること

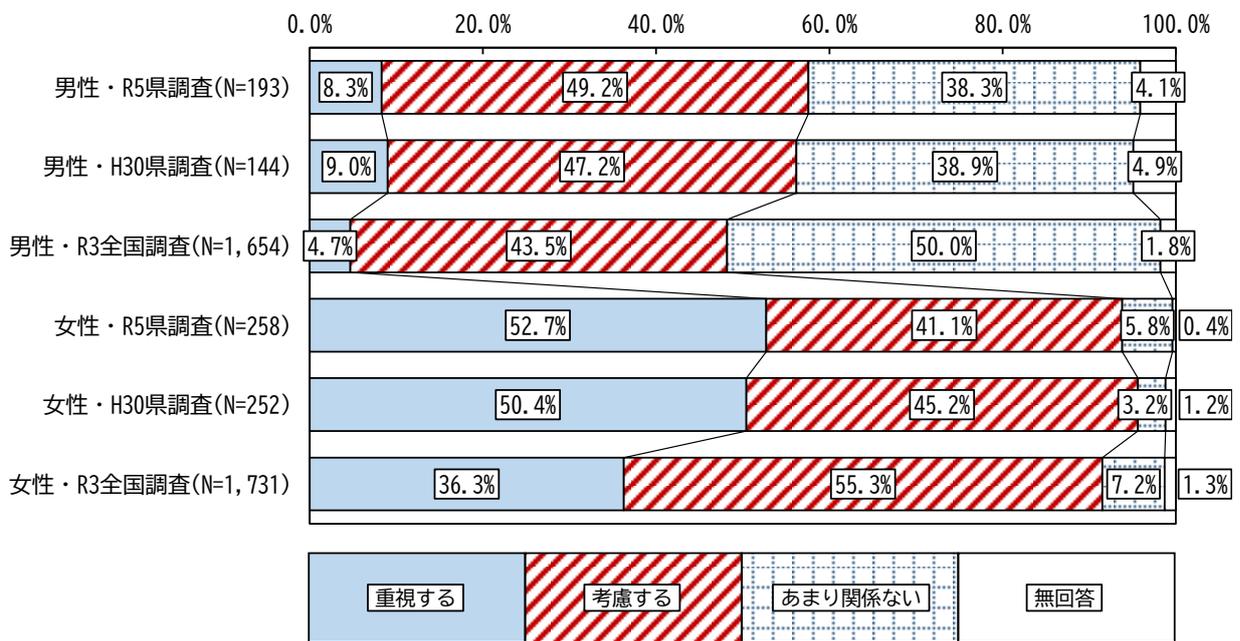
問12 あなたは結婚相手を決めるとき、次の①～⑤の項目について、どの程度重視しますか。それぞれ1～3のうち、あてはまる番号に○をつけてください。また、その他に重視することがある場合は、⑥に具体的に記入してください。

全体として、すべての項目において女性の重視する割合が男性を上回る。特に相手の経済力については、重視する程度の性差が他の項目に比べて大きい。

①相手の経済力

「重視する」の割合は、男性では8.3%、女性では52.7%となっている。「あまり関係ない」の割合は、男性では38.3%、女性では5.8%となっている。

図表 結婚相手を決める際に重視すること ①相手の経済力

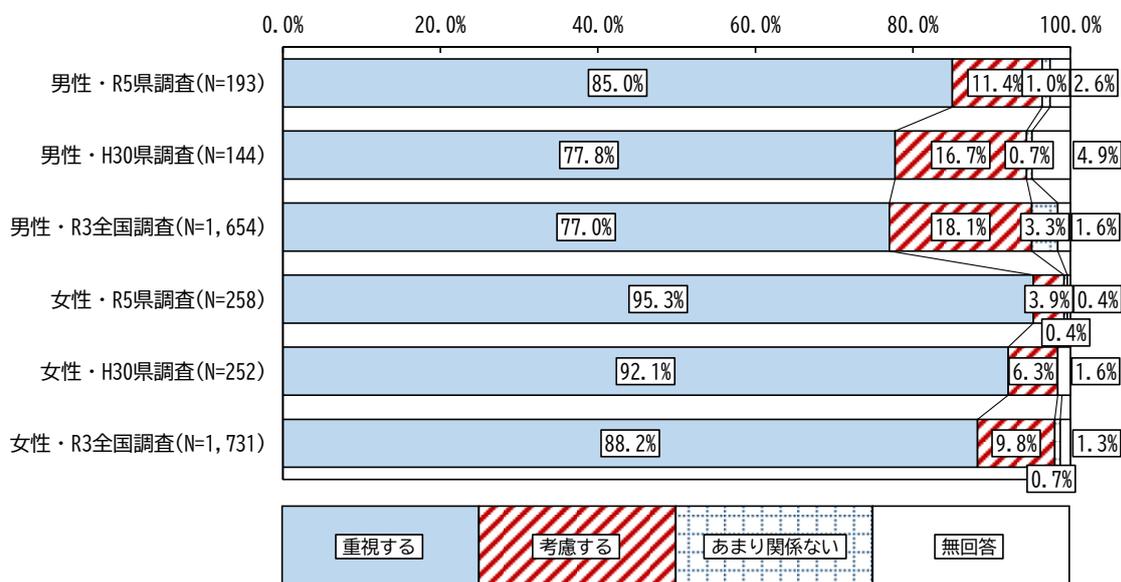


※集計対象：いずれ結婚するつもりの方の18～34歳

## ②相手の性格

「重視する」の割合は、男性では 85.0%、女性では 95.3%となっている。「あまり関係ない」の割合は、男性では 1.0%、女性では 0.4%となっている。

図表 結婚相手を決める際に重視すること ②相手の性格



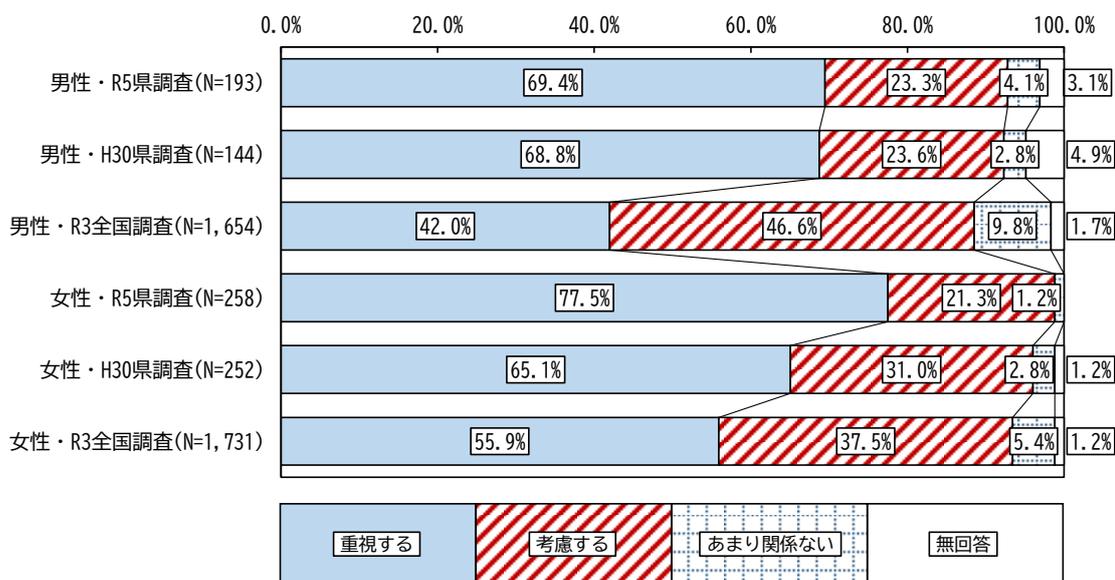
※集計対象：いずれ結婚するつもりの方の18～34歳

※R3 全国調査の質問内容は「相手の人から」

## ③自分の仕事や生き方に対する理解と協力

「重視する」の割合は、男性では 69.4%、女性では 77.5%となっている。「あまり関係ない」の割合は、男性では 4.1%、女性では 1.2%となっている。前回調査に比べて、女性では「重視する」が12.4ポイント上昇している。

図表 結婚相手を決める際に重視すること ③自分の仕事や生き方に対する理解と協力



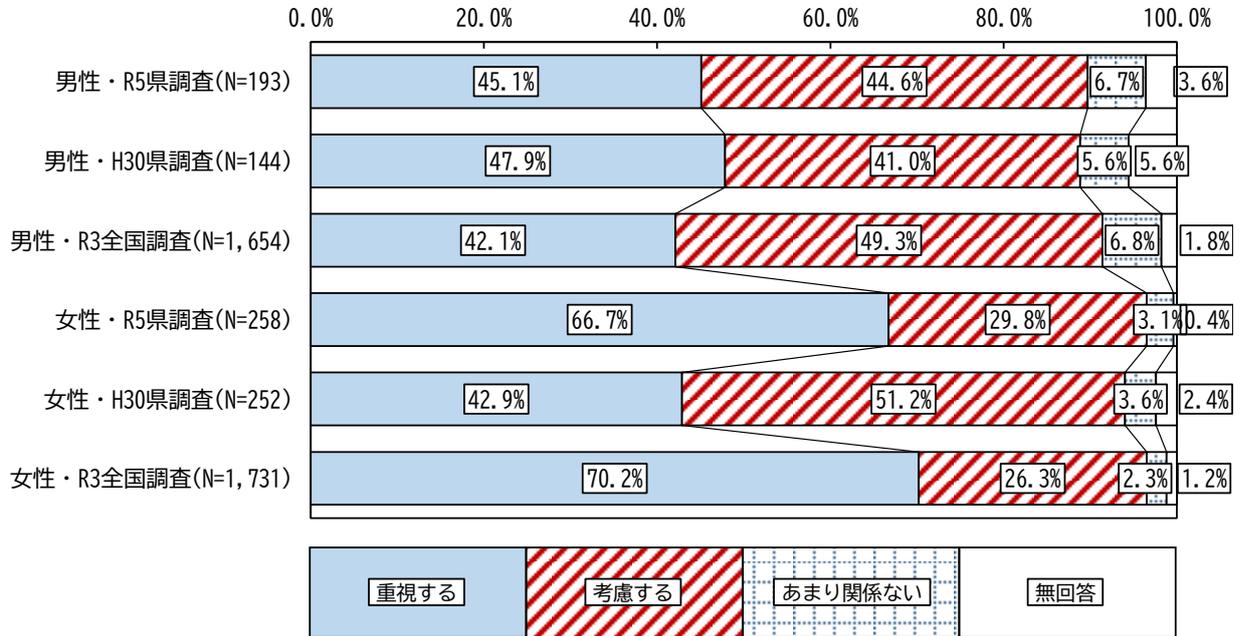
※集計対象：いずれ結婚するつもりの方の18～34歳

※R3 全国調査の質問内容は「自分の仕事に対する理解と協力」

#### ④家事・育児に対する能力や姿勢

「重視する」の割合は、男性では45.1%、女性では66.7%となっている。「あまり関係ない」の割合は、男性では6.7%、女性では3.1%となっている。前回調査に比べて、女性では「重視する」が23.8ポイント上昇している。

図表 結婚相手を決める際に重視すること ④家事・育児に対する能力や姿勢

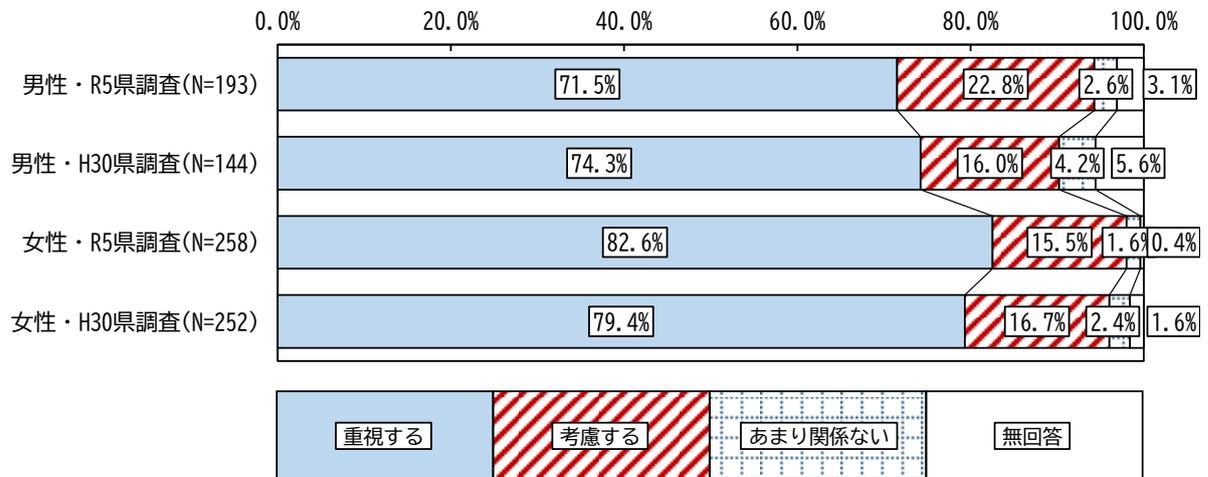


※集計対象：いずれ結婚するつもりの方の18～34歳

#### ⑤価値観が合うこと

「重視する」の割合は、男性では71.5%、女性では82.6%となっている。「あまり関係ない」の割合は、男性では2.6%、女性では1.6%となっている。

図表 結婚相手を決める際に重視すること ⑤価値観が合うこと



※集計対象：いずれ結婚するつもりの方の18～34歳

## (11) 結婚するつもりがない理由

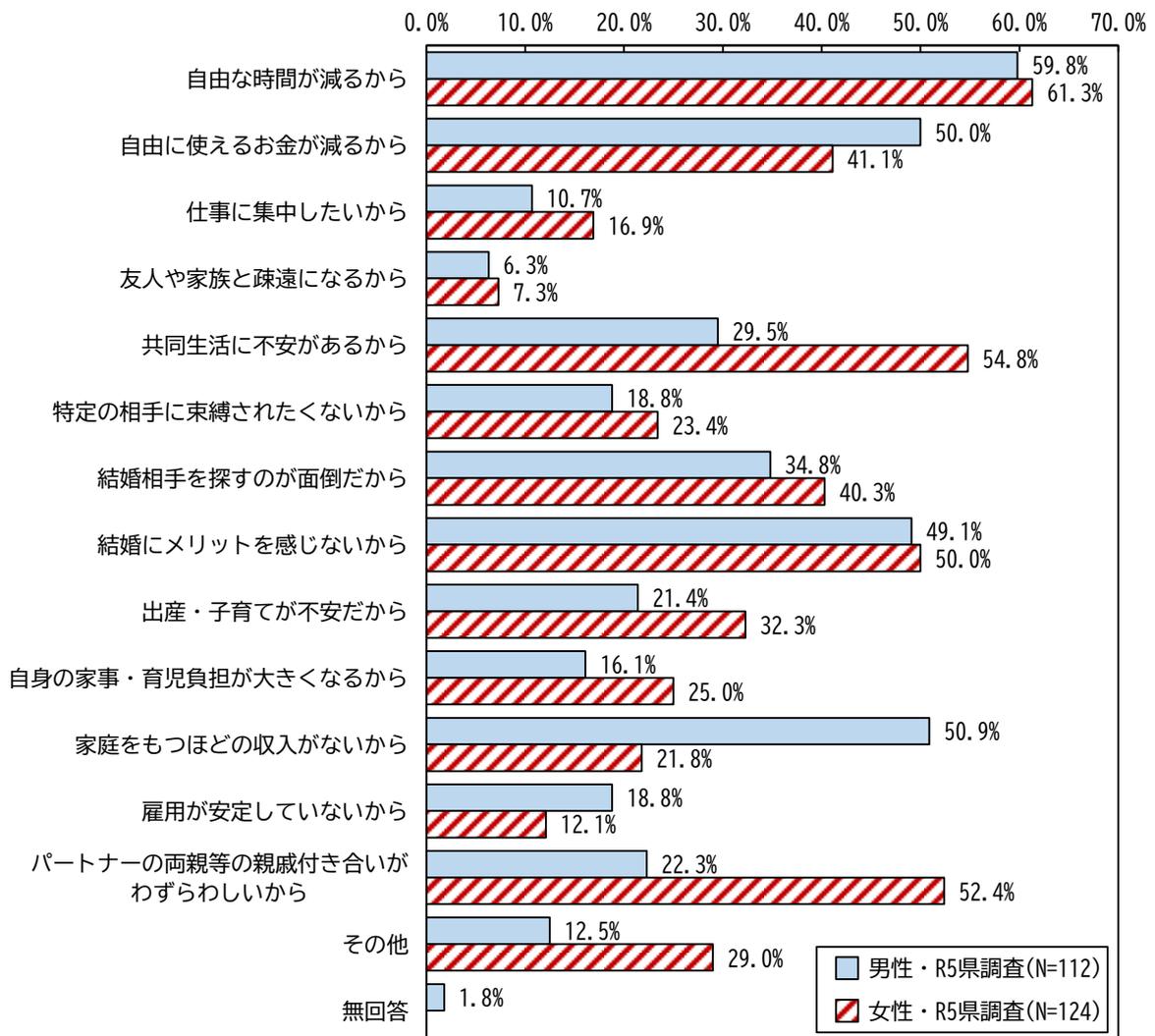
問4で「2.」（一生結婚するつもりはない）を選択した方にうかがいます。

問13 あなたは、なぜ「一生結婚するつもりはない」のですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

結婚するつもりがない理由をみると男女とも「自由な時間が減るから」が最も多く、男性で59.8%、女性で61.3%となっている。次いで、男性では「家庭をもつほどの収入がないから」が50.9%、「自由に使えるお金が減るから」が50.0%、女性では「共同生活に不安があるから」が54.8%、「パートナーの両親等の親戚付き合いがわずらわしいから」が52.4%となっている。

男性と女性を比べると、男性で「家庭をもつほどの収入がないから」が29.1ポイント、「自由に使えるお金が減るから」が8.9ポイント女性より高く、女性で「パートナーの両親等の親戚付き合いがわずらわしいから」が30.1ポイント、「共同生活に不安があるから」が25.3ポイント、「出産・子育てが不安だから」が10.9ポイント男性より高くなっている。

図表 結婚するつもりがない理由



※新規質問項目

(12) 結婚することの障害

現在交際している方にうかがいます。それ以外の方は問 15 へお進みください。

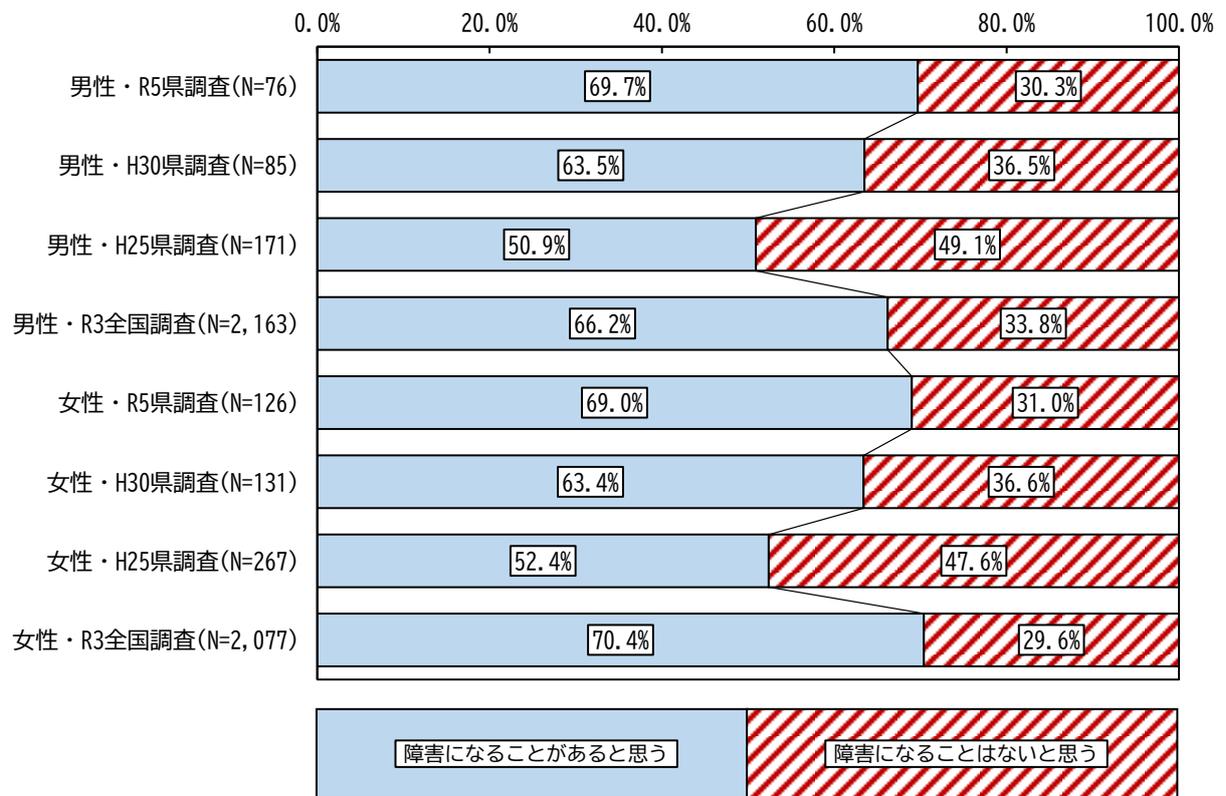
問 1 4 現在交際している人と結婚するとしたら、なにか障害になることがあると思いますか。左下①のあてはまる番号に○をつけてください。また、①の 1. に○をつけた方は、右側②の障害になると思うことの中から、最大の障害と第二の障害をそれぞれ 1 つ選んで右の回答欄に番号を記入してください。

①交際相手と結婚することを考えた場合の障害になることの有無

男女とも「障害になることがあると思う」の割合が 69%程となっている。

過去調査と比べると、男女ともに「障害になることがあると思う」の割合が上昇している。

図表 交際相手と結婚することを考えた場合の障害になることの有無



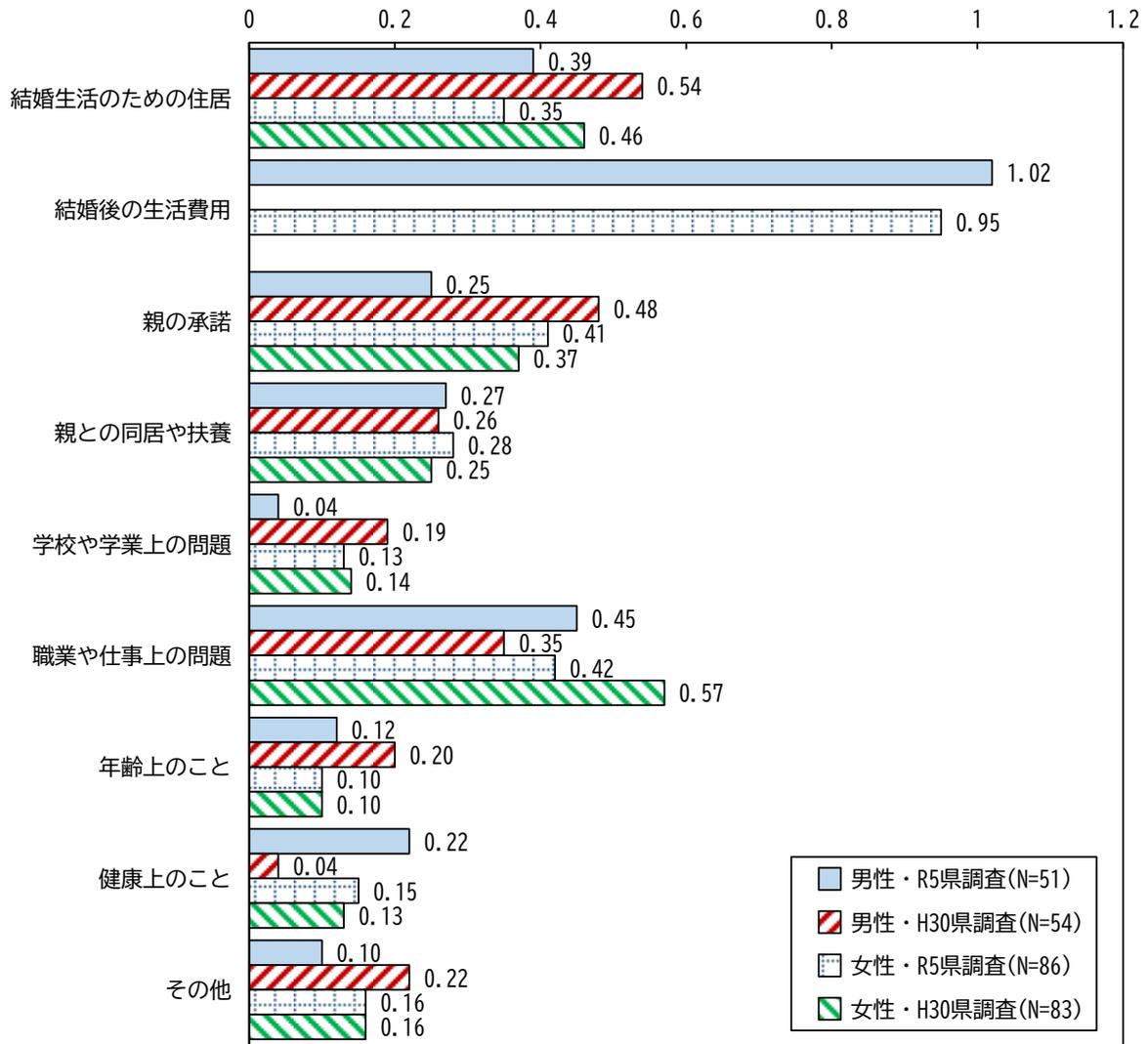
※集計対象：結婚経験のない方（無回答を除く）

## ②結婚の障害になる具体的な内容

結婚の障害になる具体的な内容を見ると、男性では「結婚後の生活費用」が1.02点で最も多く、次いで、「職業や仕事上の問題」が0.45点、「結婚生活のための住居」が0.39点となっている。

女性では「結婚後の生活費用」が0.95点で最も多く、次いで、「職業や仕事上の問題」が0.42点、「親の承諾」が0.41点となっている。

図表 結婚の障害になる具体的な内容（2つ選択）



※結婚経験のない方について、最大の障害=2点、第二の障害=1点として合計し、対象の母数で割った値を得点とした

※「結婚後の生活費用」は今回調査からの新規項目

(参考) 図表 結婚の障害になる具体的な内容 (過去調査)

